

学生募集要項 2027

WEB
出願

総合型 選抜

(学部・専願制／探究)Ⅰ期・Ⅱ期
(学部・併願制／基礎力)
(短大／特待生チャレンジ)
(短大)Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期

学校 推薦型 選抜

(学部・専願制／一般)
(短大／一般)

一般 選抜

A日程(特待生チャレンジ)
B日程

一般 選抜

(共通テスト利用)前期
(共通テスト利用)後期

社会人特別選抜

鎌倉女子大学

鎌倉女子大学短期大学部

Kamakura Women's University



Contents

2	鎌倉女子大学のアドミッションポリシー	31	学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）小論文課題	54	共通テスト併願割引制度について
	家政学部のアドミッションポリシー	35	一般選抜A日程（学部／特待生チャレンジ）		学部第2志望申請制度について
3	児童学部のアドミッションポリシー		一般選抜B日程（学部）		入学金等納付金のスライド制度について
	教育学部のアドミッションポリシー		一般選抜A日程（短大／特待生チャレンジ）	55	WEB出願の利用について
4	教育メディアクリエーション学環のアドミッションポリシー		一般選抜B日程（短大）	61	WEB出願Q&A
5	鎌倉女子大学短期大学のアドミッションポリシー	42	一般選抜（共通テスト利用）前期	62	合格発表について
6	鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部		一般選抜（共通テスト利用）後期		
	入学資格	45	社会人特別選抜		
7	募集人員	49	学費・その他の納入金		
8	入学試験日程	50	入学手続時納入金について		
9	総合型選抜（学部・専願制／探究）Ⅰ期・Ⅱ期	51	特待生チャレンジについて		
13	総合型選抜（学部・専願制／探究）Ⅰ期・Ⅱ期プレゼンテーション課題		奨学金		
15	総合型選抜（学部・併願制／基礎力）	52	教育訓練給付金について		
19	総合型選抜（学部・併願制／基礎力）小論文課題		入学検定料の返還について		
21	総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）		高等教育の修学支援新制度		
	総合型選抜（短大）Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期		国の教育ローン		
25	学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）	53	入学検定料免除制度について		
	学校推薦型選抜（短大／一般）				

鎌倉女子大学のアドミッションポリシー
（入学者受入れの方針）

鎌倉女子大学は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、以下のような学生を求める。

- 1 高等学校までの学習課程を通じて身につけなければならない基礎的学力及び倫理性を備えている人。
- 2 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、学修課程を通じてこれを身につける努力を惜しまない人。
- 3 本学が行う教育活動に積極的に参加し、これにふさわしい学士力を身につける努力を惜しまない人。

このような学生を選抜し、また、多様な能力及び個性をもった学生を受け入れるため、各種の選抜方法を設定する。

家政学部のアドミッションポリシー

家政学部は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
- 2 健全な社会と人間の健康で文化的・経済的な生活と生存に対する強い関心を抱き、家政学に関する専門的知識・技能を意欲と努力をもって学びとろうとする人。
- 3 グローバル化する生活世界全体の質の向上を目指して、自らの生きる地域・社会に貢献しようとグローバルに思考し、行動できる人。

〔家政保健学科のアドミッションポリシー〕

家政保健学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
また、「家庭」を通して、人間生活・健康に関する諸課題について学ぶための、基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
- 4 衣・食・住、健康・教育、経済・経営のウェルビーイングに関心があり、人間生活・健康に関する諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 企業や地域社会等において、または中学校・高等学校の教員（家庭・保健）、小学校・中学校・高等学校の養護教諭として活躍しようとする明確な目的意識があり、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

〔管理栄養学科のアドミッションポリシー〕

管理栄養学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
また、「理科」を通して、食・栄養・健康について学ぶための、基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
- 4 自然科学及び食と健康に関わる分野に関心があり、食・栄養・健康に関する諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 人間の生命を預かる強い自覚を有するとともに、健康・医療・福祉・教育等の分野で管理栄養士として活躍しようとする明確な目的意識があり、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

児童学部のアドミッションポリシー

児童学部は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
- 2 児童が生きる生活世界及び文化環境等に対する強い関心を抱き、グローバル化する時代を認識しつつ、児童学に関する専門的知識・技能を身につけるべく努力を惜しまない人。
- 3 児童の成長を心と身体の両面から支え得る可能性を備え、児童の指導・相談・援助等の活動に貢献しようとする意欲のある人。

〔児童学科のアドミッションポリシー〕

児童学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
また、「保健体育」及び「芸術」を通して、教育・保育・表現文化等について学ぶための、基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
また、体育・芸術等の分野において心身ともに豊かに表現できる力を有する人。
- 4 児童の教育・保育に関心があり、児童を取り巻く諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 保育士、幼稚園・小学校の教員として、または児童関連企業等において活躍しようとする明確な目的意識があり、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

〔子ども心理学科のアドミッションポリシー〕

子ども心理学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 文献を読解・要約するとともに、グラフや表等を活用してものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
- 4 子どもの心・行動・成長及び心理学に関心があり、子どもの心に関する諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 教育・健康福祉・医療関連分野及び関連企業等において子どもの心の専門家として活躍しようとする明確な目的意識があり、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

教育学部のアドミッションポリシー

教育学部は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
- 2 教職に対する強い関心を抱き、グローバル化する時代を認識しつつ、幅広い領域にわたる学問分野にあって、自ら進んで教育学に関する専門的知識・技能を学びようとする人。
- 3 人間性豊かな性情を子どもたちに分かち与え得る可能性を備え、教育界及び広く社会の教育活動に貢献しようとする意欲のある人。

〔教育学科のアドミッションポリシー〕

教育学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
- 4 教育や人間形成に関心があり、教育に関する諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 人間の成長を積極的に支援しようとする情熱を有するとともに、小学校・中学校（国語・社会）・高等学校（国語・地理歴史・公民）の教員、学芸員及び教育学的知見をもった企業人等として活躍しようとする明確な目的意識があり、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

教育メディアクリエーション学環のアドミッションポリシー

教育メディアクリエーション学環は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、倫理性に基づく目的意識を形成しつつある人。
- 2 教育環境で活用される教育メディアとそのクリエーションに対する強い関心を抱き、グローバル化する時代を認識しつつ、幅広い領域にわたる学問分野にあって、自ら進んで教育メディアクリエーションに関する専門的知識・技能を学びようとする人。
- 3 時代と社会のニーズに対応した教育メディアを創造し、教育界及び広く社会の教育活動に貢献しようとする意欲のある人。

〔教育メディアクリエーション学環のアドミッションポリシー〕

教育メディアクリエーション学環は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
また、「情報」及び「芸術」を通して、教育メディアクリエーションについて学ぶための、基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
また、芸術等の分野において心身ともに豊かに表現できる力を有する人。
- 4 教育メディアクリエーションに関心があり、教育やメディア制作に関する諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 教育分野及び関連企業等において教育メディアクリエーションの専門家として活躍しようとする明確な目的意識があり、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）、カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）は本学ホームページをご参照ください。
▶ <https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/policy/index.html>

鎌倉女子大学短期大学部のアドミッションポリシー (入学者受入れの方針)

鎌倉女子大学短期大学部は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、以下のような学生を求める。

- 1 高等学校までの学習課程を通じて身につけなければならない基礎的学力及び倫理性を備えている人。
- 2 建学の精神と本学の教育の伝統を尊重し、学修課程を通じてこれを身につける努力を惜しまない人。
- 3 本学が行う教育活動に積極的に参加し、これにふさわしい学士力を身につける努力を惜しまない人。

このような学生を選抜し、また、多様な能力及び個性をもった学生を受け入れるため、各種の選抜方法を設定する。

[初等教育学科のアドミッションポリシー]

初等教育学科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 高等学校卒業相当の基礎学力を有する人。
- 2 高等学校までの履修内容のうち、「国語」及び「英語」を通して、読む、書く、聞く、話すという基礎的な知識・技能を有する人。
また、「保健体育」及び「芸術」を通して、教育・保育・表現文化等について学ぶための、基礎的な知識・技能を有する人。
- 3 ものごとを論理的に思考・判断し、自分の考えを文章や口頭で適切に表現することができる人。
また、体育・芸術等の分野において心身ともに豊かに表現できる力を有する人。
- 4 乳幼児期及び児童期に関心があり、教育・保育に関する諸問題を探究できる人。
- 5 多様な人々と主体的に関わり、コミュニケーションを取りながら協働して学修に取り組む意欲のある人。
- 6 人とかかわることが好きで、保育士、幼稚園・小学校の教員として、
または教育・保育関連企業等において活躍しようとする明確な目的意識があり、
その実現に向かってひたむきな努力を惜しまず、最後までやり遂げ、主体的に社会に貢献する意欲のある人。

[専攻科のアドミッションポリシー]

専攻科は、ディプロマポリシーに定める人材を育成するため、修学意欲のある以下のような学生を求める。

- 1 教育・保育及び幼児の身体活動に関わる分野に関心があり、積極的に学修に取り組む意欲のある人。
- 2 教育・保育に必要な知識や技能を修得して、教育・保育現場における実践力を身につけることを目指している人。
- 3 教育・保育・福祉分野及び関連企業等において社会に貢献しようとする人。

初等教育学科のディプロマポリシー(卒業認定・学位授与の方針)、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)は本学ホームページをご参照ください。

専攻科のディプロマポリシー(修了認定の方針)、カリキュラムポリシー(教育課程編成・実施の方針)は本学ホームページをご参照ください。

- <https://www.kamakura-u.ac.jp/profile/policy/index.html>

鎌倉女子大学・鎌倉女子大学短期大学部 入学資格

「大学入学資格について」

文部科学省ホームページより引用

- 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者(法第90条第1項)
- 2 特別支援学校の高等部又は高等専門学校3年次を修了した者(法第90条第1項)
- 3 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)又は研修施設の課程(文部科学大臣指定研修施設課程一覧)を修了する必要がある。)(施行規則第150条第1号、昭和56年文部省告示第153号第2号)
※「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。修了した課程が正規の学校教育であるか、何年目の課程であるかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
- 4 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)又は研修施設の課程(文部科学大臣指定研修施設課程一覧)を修了する必要がある。)(昭和56年文部省告示第153号第1号、第2号)
※合格した学力認定試験が12年の課程修了相当の学力認定試験であるかどうかはそれぞれの国の大使館等にお問い合わせください。
- 5 外国において、指定された11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程(文部科学大臣指定 高等学校に対応する外国の学校の課程一覧)を修了した者(昭和56年文部省告示第153号第3号)
- 6 我が国において、外国の高等学校相当として指定した教育施設(我が国において、外国の高等学校相当として指定した教育施設一覧)を修了した者(12年未満の課程の場合は、さらに、指定された準備教育課程(文部科学大臣指定準備教育課程一覧)を修了する必要がある。)(昭和56年文部省告示第153号第4号、第5号)
- 7 高等学校と同等と認定された在外教育施設(文部科学大臣認定等在外教育施設(高等部を設置するもの)一覧)の課程を修了した者(施行規則第150条第2号)
- 8 指定された専修学校の高等課程(文部科学大臣指定専修学校高等課程一覧)を修了した者(施行規則第150条第3号)
- 9 旧制学校等を修了した者(昭和23年文部省告示第47号第1号～第19の2号)
- 10 外国の大学入学資格である国際バカロレア、アビトゥア、バカロレア、GCEAレベル、国際Aレベル、欧州バカロレア資格を保有する者(昭和23年文部省告示第47号第20号～第24号)
- 11 国際的な評価団体(WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS)の認定を受けた教育施設(国際的な評価団体認定外国人学校について)の12年の課程を修了した者(昭和23年文部省告示第47号第24号)
※CISの旧名称であるECISの認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了したものについても入学資格が認められます。
- 12 高等学校卒業程度認定試験(旧大検)に合格した者(施行規則第150条第5号)(なお、18歳に達していないときは、18歳に達した日の翌日から認定試験合格者となる。)
- 13 「飛び入学」した者であって、高等学校卒業程度認定審査に合格した者(施行規則第150条第5の2号)
- 14 「飛び入学」した者をその後に入学者とする大学において、大学教育を受ける学力があると認められた者(施行規則第150条第6号)
- 15 大学において個別の入学資格審査により認められた18歳以上の者(施行規則第150条第7号)
※15については、事前に本学における個別入学資格審査を受ける必要があります。個別入学資格審査を希望する者は、出願期間開始日の14日前までに必要な手続きをとってください。

出願資格については、各入試の詳細ページを確認してください。

[2027年度募集人員]

■大学

学部・学科・学環		募集人員 (総数)	総合型選抜 学部・専願制 ／探究Ⅰ期	総合型選抜 学部・併願制 ／基礎力	総合型選抜 学部・専願制 ／探究Ⅱ期	学校推薦型 選抜※ ¹	一般選抜				社会人 特別選抜
							A日程 特待生 チャレンジ※ ²	B日程	共通テスト 利用 前期	共通テスト 利用 後期	
家政学部	家政保健学科	80名	20名	5名	5名	30名	10名	3名	7名	若干名	若干名
	管理栄養学科	120名	17名	10名	5名	50名	20名	5名	13名	若干名	若干名
児童学部	児童学科	150名※ ³	43名	8名	5名	70名	20名	2名	2名	若干名	若干名
	子ども心理学科	50名	10名	4名	3名	22名	7名	2名	2名	若干名	若干名
教育学部	教育学科	70名※ ³	15名	5名	4名	26名	10名	3名	7名	若干名	若干名
教育メディアクリエーション学環		35名※ ³	8名	4名	3名	11名	5名	2名	2名	若干名	若干名

※¹ 学校推薦型選抜は、学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜(併設校)の合計の人数です。
※² 一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)における「特待生」としての合格枠は大学全体で50名です。
※³ 教育メディアクリエーション学環の募集人員35名は、児童学部児童学科入学定員170名の内数20名、教育学部教育学科入学定員80名の内数10名、教育学部教育学科編入学定員20名の内数5名の合計です。
※ 総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期を出願する際は総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で同時出願し受験することができます。
※ 総合型選抜(学部・併願制／基礎力)を出願する際は総合型選抜(短大)Ⅰ期を入学検定料免除で同時出願し受験することができます。
※ 総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期を出願する際は総合型選抜(短大)Ⅱ期を入学検定料免除で同時出願し受験することができます。
※ 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)を出願する際は学校推薦型選抜(短大／一般)を入学検定料免除で学内併願し受験することができます。
※ 一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)を出願する際は一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で学内併願することができます。
※ 一般選抜B日程(学部)を出願する際は一般選抜B日程(短大)を入学検定料免除で学内併願することができます。

■短期大学部

学部・学科	募集人員 (総数)	総合型選抜					学校推薦型 選抜※ ⁵	一般選抜				社会人 特別選抜
		短大／ 特待生 チャレンジ※ ⁴	短大 Ⅰ期	短大 Ⅱ期	短大 Ⅲ期	短大 Ⅳ期		A日程／ 特待生 チャレンジ※ ⁶	B日程	共通テスト 利用 前期	共通テスト 利用 後期	
初等教育学科	50名	20名	5名	2名	若干名	若干名	20名	3名	若干名	若干名	若干名	若干名

※⁴ 総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)における「特待生」としての合格枠は3名です。
※⁵ 学校推薦型選抜は、学校推薦型選抜(短大／一般)、学校推薦型選抜(指定校)、学校推薦型選抜(併設校)の合計の人数です。
※⁶ 一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)における「特待生」としての合格枠は短大で2名です。
※ 総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)を出願する際は総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期を入学検定料免除で同時出願し受験することができます。
※ 総合型選抜(短大)Ⅰ期を出願する際は総合型選抜(学部・併願制／基礎力)を入学検定料免除で同時出願し受験することができます。
※ 総合型選抜(短大)Ⅱ期を出願する際は総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期を入学検定料免除で同時出願し受験することができます。
※ 学校推薦型選抜(短大／一般)を出願する際は学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)を入学検定料免除で学内併願し受験することができます。
※ 一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)を出願する際は一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で学内併願することができます。
※ 一般選抜B日程(短大)を出願する際は一般選抜B日程(学部)を入学検定料免除で学内併願することができます。

[2027年度 入学試験日程]

		出願期間 (消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日
総合型 選抜	短大／ 特待生チャレンジ	9月1日(火)～9月7日(月)	9月12日(土) ^{※1}	内定通知日 9月17日(木) 合格通知発送日 11月2日(月)	一括 11月16日(月) 二段階 1次:11月16日(月) 最終:2月26日(金)
	学部・専願制／探究 Ⅰ期	出願期間 9月1日(火)～9月11日(金) 調査書提出期間 9月1日(火)～10月2日(金)	9月20日(日) ^{※2}	内定通知日 10月7日(水) 合格通知発送日 11月2日(月)	一括 11月16日(月) 二段階 1次:11月16日(月) 最終:2月26日(金)
	短大 Ⅰ期	9月24日(木)～10月9日(金)	10月18日(日) ^{※3}	11月2日(月)	一括 11月16日(月) 二段階 1次:11月16日(月) 最終:2月26日(金)
	学部・併願制／ 基礎力	9月24日(木)～10月9日(金)	10月18日(日) ^{※3}	11月2日(月)	一括 2月5日(金) 二段階 1次:2月5日(金) 最終:2月26日(金)
	短大 Ⅱ期	11月2日(月)～11月13日(金)	11月21日(土)	12月1日(火)	一括 12月11日(金) 二段階 1次:12月11日(金) 最終:2月26日(金)
	学部・専願制／探究 Ⅱ期	11月2日(月)～11月13日(金)	11月22日(日)	12月1日(火)	一括 12月11日(金) 二段階 1次:12月11日(金) 最終:2月26日(金)
	短大 Ⅲ期	11月16日(月)～12月1日(火)	12月5日(土)	12月10日(木)	一括 1月5日(火) 二段階 1次:1月5日(火) 最終:2月26日(金)
	短大 Ⅳ期	2月10日(水)～2月24日(水)	3月1日(月)	3月5日(金)	一括 3月12日(金)
	短大／ 一般	11月2日(月)～11月13日(金)	11月21日(土)	12月1日(火)	一括 12月11日(金) 二段階 1次:12月11日(金) 最終:2月26日(金)
	学部・専願制／ 一般	11月2日(月)～11月13日(金)	11月22日(日)	12月1日(火)	一括 12月11日(金) 二段階 1次:12月11日(金) 最終:2月26日(金)
一般選抜	A日程 学部／特待生チャレンジ	1月4日(月)～1月18日(月)	1月23日(土)	1月28日(木)	一括 2月5日(金) 二段階 1次:2月5日(金) 最終:2月26日(金)
	A日程 短大／特待生チャレンジ	1月4日(月)～1月18日(月)	1月23日(土)	1月28日(木)	一括 2月5日(金) 二段階 1次:2月5日(金) 最終:2月26日(金)
	B日程 学部	1月4日(月)～2月4日(木)	2月9日(火)	2月16日(火)	一括 2月22日(月) 二段階 1次:2月22日(月) 最終:2月26日(金)
	B日程 短大	1月4日(月)～2月4日(木)	2月9日(火)	2月16日(火)	一括 2月22日(月) 二段階 1次:2月22日(月) 最終:2月26日(金)
	共通テスト利用 前期	1月4日(月)～2月4日(木)	個別試験実施せず	2月16日(火)	一括 2月22日(月) 二段階 1次:2月22日(月) 最終:2月26日(金)
	共通テスト利用 後期	2月10日(水)～2月26日(金)		3月5日(金)	一括 3月18日(木)
社会人特別選抜		11月16日(月)～12月1日(火)	12月5日(土)〈短期大学部〉 12月6日(日)〈学部〉	12月10日(木)	一括 1月5日(火) 二段階 1次:1月5日(火) 最終:2月26日(金)
編入学試験	Ⅰ期	11月16日(月)～12月1日(火)	12月6日(日)	12月10日(木)	一括 1月5日(火) 二段階 1次:1月5日(火) 最終:2月26日(金)
	Ⅱ期 〈教育学科のみ〉	1月20日(水)～2月1日(月)	2月4日(木)	2月16日(火)	一括 2月26日(金)
専攻科入試	Ⅰ期	11月16日(月)～12月1日(火)	12月5日(土)	12月10日(木)	一括 1月5日(火) 二段階 1次:1月5日(火) 最終:2月26日(金)
	Ⅱ期	1月20日(水)～2月1日(月)	2月4日(木)	2月16日(火)	一括 2月26日(金)
	Ⅲ期	2月10日(水)～2月24日(水)	3月1日(月)	3月5日(金)	一括 3月12日(金)

※¹ 天災等予備日9月13日(日) ※² 天災等予備日9月23日(水・祝) ※³ 天災等予備日10月24日(土)
※学校推薦型選抜(指定校)の日程については、在籍校に確認してください。
※総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校は除く)の追試験日は〈短期大学部〉12月5日(土)、〈学部〉12月6日(日)です。
※表中の総合型選抜(短大)Ⅳ期、一般選抜(共通テスト利用)後期、編入学試験Ⅱ期、専攻科Ⅱ期・Ⅲ期を除く入試は、一括納入方式と二段階納入方式(1次締切日までに入学金、最終締切日までに残金を納入)の選択制。
※編入学試験Ⅰ期、専攻科入試Ⅰ期において、鎌倉女子大学短期大学部から進学する者の入学手続きは一括納入方式のみとなります。

専願制 総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期

総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期

募集人員

	家政学部		児童学部		教育学部	教育メディア クリエーション学環
	家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科	
Ⅰ期	20名	17名	43名	10名	15名	8名
Ⅱ期	5名	5名	5名	3名	4名	3名

求める人材

総合型選抜(学部・専願制／探究)では、下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 高等学校または中等教育学校で積極的に学習に取り組んでいる人。
- (2) 自ら課題を設定し、収集した情報を整理・分析して、考えを深めながら課題の解決をしようとする探究活動に意欲のある人。
- (3) 本学が定めるアドミッションポリシー(AP)に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

評価観点は、①アドミッションポリシー(AP)の適合性 ②基礎学力(知識・技能) ③思考力・判断力・表現力 ④主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度の4つの観点から総合的に選考します。

出願資格

▶家政学部家政保健学科、児童学部児童学科、児童学部子ども心理学科、教育学部教育学科、教育メディアクリエーション学環 文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2027年3月31日までに有する見込みの女子で、本学を専願とする者。(P.6参照)

▶家政学部管理栄養学科

高等学校または中等教育学校を卒業または2027年3月卒業見込みの女子で本学を専願とし、次の条件を満たす者。

「化学基礎」(「理数化学」も可)と「生物基礎」(「理数生物」も可)を履修した者。

※障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、出願受付開始前のできるだけ早い時期に必ず入試・広報センター(TEL.0467-44-2117)まで申し出てください。

日程

	出願期間(消印有効)	調査書提出期間(消印有効)	試験日	内定通知日	合格発表日	入学手続締切日(消印有効)
Ⅰ期	2026年9月1日(火)～9月11日(金)	2026年9月1日(火)～10月2日(金)	2026年9月20日(日) 天災等予備日9月23日(水・祝)	2026年10月7日(水)	2026年11月2日(月)	一括2026年11月16日(月) 二段階1次:2026年11月16日(月) 最終:2027年2月26日(金)
Ⅱ期	2026年11月2日(月)～11月13日(金)		2026年11月22日(日)		2026年12月1日(火)	一括2026年12月11日(金) 二段階1次:2026年12月11日(金) 最終:2027年2月26日(金)

※試験の集合時間は、受験票の記載により指示されます。
※総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期と学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)の両方に出願することはできません。

試験会場

本学(鎌倉女子大学 大船キャンパス)

選抜方法

プレゼンテーション、面接および調査書(「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化)。

合否判定における評価配分は右記の通りです。

審査種別	評価配分
プレゼンテーション	40%
面接	30%
調査書	30%

審査種別ごとの配点と評価観点内訳

審査種別	配点	評価観点	S	A	B	C	D
プレゼンテーション	40点	アドミッションポリシー(AP)の適合性	25点	20点	15点	10点	5点
		思考力	5点	4点	3点	2点	1点
		判断力	5点	4点	3点	2点	1点
		表現力(情報機器の運用能力を含む)	5点	4点	3点	2点	1点
面接	30点	アドミッションポリシー(AP)の適合性	10点	8点	6点	4点	2点
		思考力	5点	4点	3点	2点	1点
		判断力	5点	4点	3点	2点	1点
		表現力	5点	4点	3点	2点	1点
		主体性等	5点	4点	3点	2点	1点
調査書	30点	基礎学力(知識・技能)	30点	24点	18点	12点	6点

総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期・Ⅱ期の流れ

STEP
1

事前相談

事前相談は、オープンキャンパスやWEB進学相談、各地で開催される学外進学相談会などにおいて行います。
事前相談においては、入試の趣旨、選抜方法などについて詳しく説明します。
事前相談を行わず、直接出願することもできますが、受験生が入試制度の理解を深めるため、できるだけ事前相談を受けてください。

STEP
2

出願(WEB出願)

出願期間 Ⅰ期 9月1日(火)～9月11日(金) ※消印有効
Ⅱ期 11月2日(月)～11月13日(金) ※消印有効

調査書提出期間 [Ⅰ期のみ] 9月1日(火)～10月2日(金) ※消印有効

出願書類 「入学希望理由書」「志願票(プリンター出力したもの)」および「調査書」(最終学年1学期まで(2期制の場合は前期まで)の学習成績の状況が記載されたもの)
※Ⅰ期のみ出願期間内に調査書の提出が間に合わない場合は、出願期間内に「入学希望理由書」および「志願票」を提出し、調査書提出期間内に「調査書」のみ別途提出してください。
※「入学希望理由書」は本学ホームページからダウンロードすることもできます。
※WEB出願サイトで出題登録後、入学検定料の納入を完了させ、出願書類を出願期間内に郵送することで出願受理となります。出願期間最終日の出願登録・入学検定料の納入は17:00までとなります。

STEP3

プレゼンテーション面接

試験日

I期 9月20日(日)
II期 11月22日(日)

●プレゼンテーション

評価方法:学生募集要項に示された課題（I期・II期共通）に対して、10分程度の発表を行います。発表はPDFファイルを使用して行います。

評価のポイント:「アドミッションポリシーの適合性」をはじめ発表の内容とともに、理論立てて分かりやすく伝える「思考力・判断力・表現力」を評価します。「情報機器の運用能力」も評価に含まれます。

●面接

評価方法:プレゼンテーション発表後、「入学希望理由書」に書かれた内容を中心に、2人の面接担当教員からの質問に答えます。プレゼンテーションに関する問も含まれます。時間は10分程度です。

評価のポイント:「入学希望理由書」に書かれた内容を中心に質疑応答を行います。質問されたことにしっかりと答えられるかを「思考力・判断力・表現力」を観点にして評価します。「アドミッションポリシーの適合性」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」も評価観点となります。

「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコアー化

STEP4

調査書

STEP5

内定通知・合格発表

内定通知日

【I期のみ】 10月7日(水)

合格発表日

I期11月2日(月)
II期12月1日(火)

STEP6

入学手続

入学手続締切日

I期

一括

 11月16日(月)

二段階

 1次:11月16日(月)
最終:2月26日(金)

II期

一括

 12月11日(金)

二段階

 1次:12月11日(金)
最終:2月26日(金)

出願書類

※市販の角2封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて下記の書類を郵送してください。

1. 入学希望理由書

本学所定用紙
※「入学希望理由書」はこの学生募集要項の最終ページに挟み込んであります。
または本学公式ホームページよりデータをダウンロードすることも可能です。
2. 志願票

WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
- 写真

タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科・学環を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)
3. 調査書

文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)
最終学年1学期まで(2期制の場合は前期まで)の「学習成績の状況」が記載されたもの。
※I期のみ出願期間内に調査書の提出が間に合わない場合は、出願期間内に「入学希望理由書」および「志願票」を提出し、
調査書提出期間内に別途「調査書」を提出してください。

次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。

①高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。

免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」または「調査書」も提出。

②外国における12年の課程を修了した者は、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書(本学所定用紙)」。

※②に該当する場合は入試・広報センター(TEL：0467-44-2117)にご連絡ください。

入学検定料

30,000円

※出願時に入学検定料を納入していただきます。

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については57・58ページを参照してください。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

第2志望について

- ①第1志望の学科・学環で合格圏に入らなかった場合、志願票にあらかじめ第2志望の申請があれば、第2志望の学科・学環であらためて合否判定をいたします。ただし、管理栄養学科を第2志望とすることはできません。
- ②第2志望の学科・学環で合格となった場合は、入学手続を行わなくても差し支えありません。
- ③第2志望を申請しても入学検定料は30,000円です。

第1志望 第2志望			大 学				
			家政学部		児童学部		教育学部
			家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科
大学	家政学部	家政保健学科		○	○	○	○
		管理栄養学科	×		×	×	×
	児童学部	児童学科	○	○		○	○
		子ども心理学科	○	○	○		○
	教育学部	教育学科	○	○	○	○	
	教育メディアクリエーション学環		○	○	○	○	

受験上の注意

- ①集合時間は、受験票の記載により指示されますので確認をしてください。(指示された時間の変更はできません)
- ②試験室への入室は、集合時間の20分前からです。
- ③試験の当日は、集合時間までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
- ④試験会場内では受験票を必ず携帯し、紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ⑤スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。
- ⑥付添者の控室は設置いたしません。
- ⑦インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症(学校保健安全法施行規則で規定された感染症)を罹患し治癒していない方は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。
- ⑧試験場においては、監督者等の指示に従ってください。(監督者等の指示に従わない場合は不正行為となることがあります。)

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車での来校は、駐車場がありませんのでご注意ください。

内定通知・合格発表

- ①内定通知(I期のみ)および合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します(簡易書留・速達)。第2志望を申請し、「不合格」となった場合、第1志望・第2志望とも不合格であることを示します。詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- ②電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

入学手続

- ①入学手続書類は、入学手続締切日(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日)までに郵送してください(当日消印有効)。
- ②入学手続時納入金(詳しくは49ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入)。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は認めません。
- ④前①、②の手続を完了した方には、入学手続締切日以降14日以内(二段階納入方式の場合は、二段階最終手続締切日より14日以内)に「入学許可書」を送付します。
- ⑤総合型選抜(学部・専願制／探究)I期・II期は専願制の入試につき、入学手続後の辞退および入学手続時納入金の返還には応じられません。この件についてのお問い合わせは、入試・広報センター(TEL：0467-44-2117)までお願いします。

総合型選抜(学部・専願制／探究)プレゼンテーション課題

I期・II期 共通

「プレゼンテーション」審査当日の注意事項

- 1 発表時間は約10分間です。
- 2 発表は PDF ファイルを使用します。
- 3 作成した発表用の PDF ファイルは、USB メモリに保存し、当日持参してください。また、補助資料として、プリントアウト資料(3部)も持参してください。
- 4 プリントアウト資料の内訳は、担当教員用2部、本人用 1 部です。本人用には、発表内容のメモを記入することが可能です。
- 5 発表時に試験室に持ち込み可能な資料は、本人用のプリントアウト資料のみです。
- 6 発表用ツールとしてプレゼンター(ロジクール R500GR)を用意します。
- 7 プレゼンテーション時にインターネットへの接続はできません。

[家政保健学科]

課題	現在日本では少子高齢化や相続によって空き家が増加しており、全国の空き家数は900万戸にのぼります※。空き家が増えることによる問題を説明し、空き家の活用方法について提案してください。 ※「令和5年住宅・土地統計調査」(総務省、2024年公表)
----	---

[管理栄養学科]

課題	テーマ:管理栄養士の将来像について 管理栄養士は病気を患っている方や高齢で食事がとりづらくなっている方、健康な方一人ひとりに合わせて、専門的な知識と技術を持って栄養指導や栄養管理を行います。そこで、あなたがめざしている管理栄養士関連の職業について、1つ挙げ、その職業において管理栄養士が、現在果たしている役割について2つ以上挙げてまとめてください。さらに、現代のデジタル社会において必要不可欠になりつつある「ICT(情報通信技術)」と「AI(人工知能)」について概要をまとめたうえで、それぞれを将来の管理栄養士業務にどのように活かしていきたいか、提案してください。なお、これらの提案は、実現可能性は問いません。自由に発想してください。
----	--

[児童学科]

課題	あなたの身近にいる人たちの中から、あなたが憧れ、目標にしたいと思っている人をひとり選んでください。その上で、下記の要素を含むプレゼンテーションを構築してください。 1) 具体的なエピソードを踏まえてその人の魅力を説明するとともに、その魅力の本質を分析すること。 2) その人との対比を通じて、自分の課題を整理すること。 3) 1)2)を踏まえて、あなたは児童学科に入学後どのような行動の変化につなげていこうと考えているのかを具体的に述べること。
----	---

[子ども心理学科]

課題	高校における学びの中で、興味をひかれ深掘した事、深く勉強したら興味が持てるようになった事等、あなたが最も学習した事、学習によって興味を持ったことなどについて、説明してください。その上で、「学習」についてのあなたの考えを述べてください。他の人にもわかりやすく共感してもらえるような説明方法を工夫してください。
----	---

[教育学科]

課題	文部科学省は令和8年4月から小学校や特別支援学校小学部の児童の学校給食について、必要経費の一部を支援する「学校給食費の根本的な負担軽減」を始めました。学校給食は「学校給食法」により安全で栄養バランスの優れた食事を提供することが定められています。また、あなた自身が経験してきたように「食育基本法」に定められた食育の場としても重要です。「学校給食実施状況等調査」によれば令和5年5月1日現在で、国立・公立・私立の小学校での学校給食の実施率はほぼ100%、中学校でのそれは90%を超えています。このような現状にあって、今後の給食のあり方について、あなたの経験を参照しながら、食育、不登校児童生徒への対応、中学校での実施率向上、高等学校、高等専門学校などに通学する未成年への提供やその他から複数の論点を選び、展望や課題を整理して、あなたが考える理想の学校給食について、実現までのロードマップをある程度具体的に示す提案を、魅力的なタイトルを考案してプレゼンテーションしてください。
----	---

[教育メディアクリエーション学環]

課題	近年、生成AIの発展により、教育現場における活用の可能性が広がっています。文部科学省のガイドラインや、リーディングDX スクールの実践事例においても、AIを学習支援として活用し、生徒の思考力や判断力を育成する重要性が示されています。一方で、安易に解答を得ることへの依存により、試行錯誤や深い理解が損なわれる懸念も指摘されています。 こうした背景を踏まえ、自分の立場(学校の先生やアプリ開発者など)を明確にした上で、教育現場におけるAIの活用方法を整理し、生徒の思考力をどのように促進するかについて具体的に述べてください。 また、この課題は、実践事例を調べたり構成案のたたき台を作成したりする際に、生成AIを活用しながら取り組むことができます。どのように活用したかについても、プレゼンテーションの中で明示してください。
----	--

併願制 総合型選抜(学部・併願制／基礎力)

募集人員

家政学部		児童学部		教育学部	教育メディア クリエーション学環
家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科	
5名	10名	8名	4名	5名	4名

求める人材

総合型選抜（学部・併願制／基礎力）では、下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 高等学校または中等教育学校で積極的に学習に取り組んでいる人。
- (2) 高等学校または中等教育学校までの学習から得た基礎的な力を活かして大学での学びに意欲的に取り組むことができる人。
- (3) 本学が定めるアドミッションポリシー（AP）に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

出願資格

▶家政学部家政保健学科、児童学部児童学科、児童学部子ども心理学科、教育学部教育学科、教育メディアクリエーション学環
文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2027年3月31日までに有する見込みの女子(P.6参照)

▶家政学部管理栄養学科

高等学校または中等教育学校を卒業または2027年3月卒業見込みの女子で次の条件を満たす者。
「化学基礎」「理数化学」も可)と「生物基礎」「理数生物」も可)を履修した者。

※障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、出願受付開始前のできるだけ早い時期に
必ず入試・広報センター(TEL.0467-44-2117)まで申し出てください。

日程

出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日	入学手続締切日（消印有効）
2026年9月24日(木) ～10月9日(金)	2026年10月18日(日) 天災等予備日10月24日(土)	2026年11月2日(月)	一括 2027年2月5日(金) 二段階 1次：2027年 2 月5日(金) 最終：2027年 2 月26日(金)

試験会場

本学（鎌倉女子大学 大船キャンパス）

選抜方法

基礎学力試験、小論文および調査書(「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコアー化)。

審査種別	評価配分
基礎学力試験	60%
小論文	20%
調査書	20%

試験教科・科目および試験時間

学部・学科・学環		試験教科・科目	試験時間
家政学部	家政保健学科	基礎学力試験 ①国語(現代文)、②英語の基礎的な学力を問うテスト。 ※①、②は各50点	9:30～10:30
児童学部	児童学科		
	子ども心理学科	小論文 P.19・20に示された課題について小論文をまとめる。	11:00～12:00
教育学部	教育学科		
教育メディアクリエーション学環			
家政学部	管理栄養学科	基礎学力試験 ①国語(現代文)、②英語、③図表・グラフの情報の読み取りの基礎的な学力を問うテスト。 ※①、②、③は各50点	9:30～10:50
		小論文 P.19に示された課題について小論文をまとめる。	11:20～12:20

出願書類

※市販の角2封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて下記の書類を郵送してください。

- 志 願 票**
(プリンター出力したもの)
写 真
WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科・学環を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)
- 調 査 書**
文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)
最終学年1学期まで(2期制の場合は前期まで)の「学習成績の状況」が記載されたもの。

次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。

- ①高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。
免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」または「調査書」も提出。
- ②外国における12年の課程を修了したものは、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書(本学所定用紙)」。
※②に該当する場合は入試・広報センター(TEL：0467-44-2117)にご連絡ください。

入学検定料

30,000円

※出願時に入学検定料を納入していただきます。

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー) ATM、Pay-easy(ペイジー) ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については57・58ページを参照してください。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

第2志望について

- ①第1志望の学科・学環で合格圏に入らなかった場合、志願票にあらかじめ第2志望の申請があれば、第2志望の学科・学環であらためて合否判定をいたします。ただし、管理栄養学科を第2志望とすることはできません。
- ②第2志望を申請しても入学検定料は30,000円です。

第1志望 第2志望			大 学					
			家政学部		児童学部		教育学部	教育メディア クリエーション学環
			家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科	
大学	家政学部	家政保健学科		○	○	○	○	○
		管理栄養学科	×		×	×	×	×
	児童学部	児童学科	○	○		○	○	○
		子ども心理学科	○	○	○		○	○
	教育学部	教育学科	○	○	○	○		○
	教育メディアクリエーション学環		○	○	○	○	○	

不正行為

- ①カンニング(メモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。)をすること。
- ②他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ③配付された問題を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ④解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「はじめてください。」の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む。)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑦試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧「書くのをやめてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

受験上の注意

- ①試験当日は、各試験の試験開始時間15分前までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内に限り、受験を認めます。
なお、交通機関の遅延等やむを得ない場合は、試験時間を試験会場単位で繰り下げることがあります。
- ②試験会場内では受験票を必ず携帯し、受験中は机上に置いてください。
紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ③試験室入室後は、スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。
机上には受験票、筆記用具、時計しか置けません。
また、スマートフォン・携帯電話を時計がわりに使用することはできません。
- ④耳栓の使用はできません。
- ⑤計算機能・辞書機能付き腕時計や電卓等の持ち込みはできません。
- ⑥試験中は受験票、解答に必要な筆記用具、時計以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。
- ⑦試験時間中の途中退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。
ただし、退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません。
- ⑧付添者の控室は設置いたしません。
- ⑨インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症(学校保健安全法施行規則で規定された感染症)を罹患し治癒していない方は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。
- ⑩試験場においては、監督者等の指示に従ってください。(監督者等の指示に従わない場合は不正行為となることがあります)

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車での来場は、駐車場がありませんのでご遠慮ください。

合格発表

- ①合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。
合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します(簡易書留・速達)。
第2志望を申請し、「不合格」となった場合、第1志望、第2志望とも不合格であることを示します。
詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- ②電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

入学手続

- ①入学手続書類は、入学手続締切日(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日)までに郵送してください(当日消印有効)。
- ②入学手続時納入金(詳しくは49ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入)。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。
- ④前①、②の手続を完了(完納)した方には、入学手続締切日以降14日以内(二段階納入方式の場合は、二段階最終締切日より14日以内)に「入学許可書」を送付します。

入学辞退に伴う学費の返還について

総合型選抜(学部・併願制／基礎力)で入学手続を完了した方が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ①受付期限
2027年3月31日(水)17:00まで
- ②返還手続書類
1)入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙)
2)入学しようとする大学の合格通知書の写し
- ③返還方法
返還手続書類を受理した後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

入学金等納付金スライド制度

鎌倉女子大学または鎌倉女子大学短期大学部の併願制入試において入学手続きをし、本学の他入試において他の学科・学環に合格し入学手続きをする場合は納入済の入学金等納付金を振替えることが可能です。例えば、「総合型選抜(学部・併願制／基礎力)」で第2志望合格し、入学金等納付金を納入し入学手続きを完了させても、その後受験した入試で第1志望合格したなどの場合、納入した第2志望学科・学環の入学金等納付金を第1志望学科・学環の納付金としてスライドすることができる制度です。この制度により、第2志望学科・学環の入学を担保しながら第1志望学科・学環へ安心して挑戦することができます。制度を利用する場合には、入学手続期間内に入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ、所定の手続を行ってください。

総合型選抜(学部・併願制／基礎力)小論文課題

[家政保健学科]

課題	現代社会は大量消費社会から循環型社会への移行を推進しています。循環型社会の意義について説明し、その実現に向けた課題と有効な取り組みについて、あなたの考えを800字以内で述べてください。
----	--

[管理栄養学科]

幼少期や学童期においては、家庭教育や学校給食等を活用した学校における食の指導等を通じて、健全な食生活に必要な知識や食事の際の作法等、食に関する基礎を習得する機会が多くある。一方、学校を卒業し、又は社会人になるなどして、自ら食事を用意し食生活を営むようになる若い世代（20～30歳代）においては、食に関する課題を多く抱えていることが指摘されている。このほか、若い世代のみならず、高齢者を含めた各世代においても、それぞれ健全な食生活の実現に向けた課題を抱えていることから、各世代におけるウェルビーイング向上等の観点から、それらの課題に的確に対応した「大人の食育」を進める必要がある。

下図は、農林水産省「食育に関する意識調査（令和6（2024）年11月実施）」において、「日頃から健全な食生活を実践することを心掛けているか否か」についてのアンケート結果である。下図を参考にして、男性と女性、それぞれの世代間を比較すると、どのような特徴があるかと考えるか、男性の場合と女性の場合について、それぞれ1つずつ挙げて説明しなさい。そのうえで、健全な食生活の実践に向けて、あなたが将来、管理栄養士としてできると思う取り組みについても2つ挙げて説明しなさい。なお、実現可能性は問わない。合計で、600字以上800字以内で記述すること。

性別	世代	常に関心している	関心している	あまり関心していない	まったく関心していない	無回答
男性	全体(2,365人)	13.4	61.2	23.3	1.4	
	若い世代(429人)	11.0	52.7	33.8	2.6	
	全体(1,050人)	10.5	58.1	29.0	2.3	
	20～29歳(86人)	7.0	46.5	40.7	5.8	
	30～39歳(108人)	9.3	49.1	38.0	3.7	
	40～49歳(144人)	12.5	57.6	27.8	2.1	
女性	50～59歳(188人)	9.6	52.7	34.6	2.7	
	60～69歳(214人)	8.4	64.0	26.2	1.4	
	70歳以上(310人)	12.9	63.9	21.6	1.3	
	全体(1,315人)	15.8	63.7	18.8	0.6	
	20～29歳(98人)	8.2	50.0	40.8	1.0	
	30～39歳(137人)	16.8	61.3	21.2	0.7	
女性	40～49歳(201人)	16.4	62.2	20.9	0.5	
	50～59歳(247人)	13.0	66.0	20.6	0.4	
	60～69歳(241人)	14.1	66.8	17.4	0.4	
	70歳以上(391人)	19.9	65.5	11.0	0.8	

図 「日頃から健全な食生活を実践することを心掛けているか否か」のアンケート結果
農林水産省「食育に関する意識調査(令和6(2024)年11月実施)」より一部抜粋

[児童学科]

課題	あなたが児童の教育・保育に関心を持つようになったのはなぜですか。どのような魅力や課題を感じ、児童学科で何を学び、将来どのように活躍していきたいですか。高校時代までの経験などを踏まえ、800字程度でできるだけ具体的に述べてください。
----	---

[子ども心理学科]

我が国と諸外国のこども・若者の意識を比較することを目的として、こども家庭庁は「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査（令和5年度）」を実施しました。

以下の図表は、「居場所」についての質問に対する我が国の13歳から29歳までの男女1,000人の結果を示したものです。

では、この図表の結果を用いて、こども・若者にとって居場所はどのような意味があるのか、また、こども・若者に対してどのような居場所づくりをすることが重要と考えられるか、あなたの考えを600～800字でまとめて下さい。

場所	なんにもせすのんびりできる、ありのままでいられる	「悩みの相談ができたり、自分の意見や希望を受け入れてくれる	いろんな人と出会える、だれかと一緒に過ごせる	好きなことをして自由に過ごせたり、新しいことにチャレンジできる	あてはまる場所はない、わからない
自分の部屋 (n=1089)	67.0	11.4	7.1	18.6	16.2
家庭(実家や親族の家を含む) (n=1089)	57.1	32.4	14.5	16.3	15.5
習いごとや趣味のサークル(学校での活動は除く) (n=1089)	10.4	12.5	27.7	18.7	47.6
学校 (n=585)	15.0	22.4	54.0	23.8	19.5
職場 (n=658)	11.2	20.1	37.7	14.7	32.8
地域(図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など) (n=1089)	21.1	8.9	20.9	16.0	44.8
インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど) (n=1089)	36.2	15.1	23.9	32.1	25.1

※「学校」は在学中の人が対象
※「職場」は就労者が対象

図 こども家庭庁「我が国と諸外国のこどもと若者の意識に関する調査（令和5年度）」より抜粋

[教育学科]

文部科学省の中央教育審議会⁽¹⁾教育課程部会国語ワーキンググループは、令和8年5月11日、高校国語の科目構成を再編する案を示した。

必修科目の構成を維持しながら、「生成 AI が飛躍的に発展する中、これからの社会においては、自らの考えを言葉にし、論理的かつ説得的に表現し対話する力や、豊かな感性・情緒により自らの思いや経験を効果的に表現する力、他者と協働して考えを深める力など、人間ならではの言語能力の育成の充実が必要」として、選択科目を4科目から6科目にする。

現行の学習指導要領⁽²⁾では、主に1年で学ぶ必修科目が「現代の国語」「言語文化」、2年以降の選択科目が「論理国語」「国語表現」「文学国語」「古典探究」の4科目。

見直し案では、必修を「現代の国語I」「言語文化I」とし、選択を「現代の国語II」「論説と批評」「対話と表現」「言語文化II」「文学と叙述」「古典と文化」（いずれも仮称）の6科目とした。

注(1)文部科学相の諮問に応じて教育行政の方向性を話し合う常設機関。
(2)小・中・高等学校、特別支援学校を対象に教育課程、教科内容とその取り扱い、基本的指導事項などを示したもの。文部科学大臣が告示し、教科書編集の基準にもなる。

上の傍線部「生成 AI が飛躍的に発展する中」「自らの考えを言葉にし、論理的かつ説得的に表現し対話する力」「豊かな感性・情緒により自らの思いや経験を効果的に表現する力」について、生成 AI の活用と限界にふれながら、高校時代の国語科の学習を通じて、あなたはどのような「対話する力と表現する力」を養うのがよいと考えますか。700字以上800字以内で述べてください。

(例) 生成 AI による情報収集を判別、類別し、自己の考えを自己の言葉で論理的に組み立てて表現し、他者と対話する力。これまでの自己の経験で修得され、醸成されてきた自己の個として人間的な感性を表現する力。

[教育メディアクリエーション学環]

文部科学省が進める「GIGAスクール構想」は第2期を迎え、1人1台端末の整備から、デジタル端末を通じて蓄積される学習履歴（スタディ・ログ）の本格的な分析・活用の段階へと移行しています。文部科学省の方針においても、こうしたデータの活用を通じて、学習者一人ひとりの理解度や興味関心に応じた「個別最適学び」の実現が期待されています。一方で、個人情報適切な取り扱いや、データに基づく過度な管理・監視への懸念、さらに生成 AI のハルシネーションといったリスクへの対応も重要な課題となっています。

こうした背景を踏まえ、本課題では、自分の立場（学校の先生やアプリ開発者など）を明確にした上で、教育現場において生成 AI をどのように活用するのかを整理し、スタディ・ログなどのデータを活用した効果的な学習支援のあり方について、あなた自身の学習経験と関連付けて述べてください。なお、記述は600字以上800字以内とします。

また、この課題は、あなたが実践事例を調べることや構成案のたたき台を作る時に、生成 AI を利用しながら取り組むことができます。どのように活用したかも小論文の中で明示してください。

併願制

総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)

総合型選抜(短大)Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期

募集人員

総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）	20名
総合型選抜（短大）Ⅰ期	5名
総合型選抜（短大）Ⅱ期	2名
総合型選抜（短大）Ⅲ期	若干名
総合型選抜（短大）Ⅳ期	若干名

求める人材

総合型選抜（短大/特待生チャレンジ）では下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 高等学校または中等教育学校で積極的に学習に取り組んでいる人。
- (2) 本学が定めるアドミッションポリシー（AP）に適合し、入学後、活躍が期待できる人。
- (3) 特待生として他の学生をリードしようとする意欲のある人。

総合型選抜（短大）Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期では下記の(1)(2)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 高等学校または中等教育学校で積極的に学習に取り組んでいる人。
- (2) 本学が定めるアドミッションポリシー（AP）に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

評価観点は、①アドミッションポリシー（AP）の適合性 ②基礎学力（知識・技能） ③思考力・判断力・表現力 ④主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度の4つの観点から総合的に選考します。

出願資格

文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2027年3月31日までに有する見込みの女子。（P.6参照）

※障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、出願受付開始前のできるだけ早い時期に必ず入試・広報センター（TEL.0467-44-2117）まで申し出てください。

日程

	出願期間（消印有効）	試験日	内定通知日	合格発表日	入学手続締切日（消印有効）
特待生 チャレンジ	2026年9月1日(火) ～9月7日(月)	2026年9月12日(土) (天災等予備日9月13日(日))	2026年9月17日(木)	2026年11月2日(月)	Ⅰ 一括 2026年11月16日(月) Ⅱ 二段階 1次：2026年11月16日(月) 最終：2027年 2月26日(金)

	出願期間（消印有効）	試験日	合格発表日	入学手続締切日（消印有効）
Ⅰ期	2026年9月24日(木) ～10月9日(金)	2026年10月18日(日) (天災等予備日10月24日(土))	2026年11月2日(月)	Ⅰ 一括 2026年11月16日(月) Ⅱ 二段階 1次：2026年11月16日(月) 最終：2027年2月26日(金)
Ⅱ期	2026年11月2日(月) ～11月13日(金)	2026年11月21日(土)	2026年12月1日(火)	Ⅰ 一括 2026年12月11日(金) Ⅱ 二段階 1次：2026年12月11日(金) 最終：2027年2月26日(金)
Ⅲ期	2026年11月16日(月) ～12月1日(火)	2026年12月5日(土)	2026年12月10日(木)	Ⅰ 一括 2027年1月5日(火) Ⅱ 二段階 1次：2027年1月5日(火) 最終：2027年2月26日(金)
Ⅳ期	2027年2月10日(水) ～2月24日(水)	2027年3月1日(月)	2027年3月5日(金)	Ⅰ 一括 2027年3月12日(金)

※試験の集合時間は、受験票の記載により指示されます。

試験会場

本学（鎌倉女子大学 大船キャンパス）

選抜方法

面接および調査書（「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコアー化）。

審査種別	面接	調査書
評価観点 (学力の3要素)	アドミッションポリシー（AP）の適合性、 思考力・判断力・表現力、 主体性等	基礎学力 (知識・技能)

出願書類

市販の角2封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けて下記の書類を郵送してください。

1. 入学希望理由書
- 本学所定用紙
※「入学希望理由書」は本学公式ホームページからダウンロードすることもできます。
2. 志 願 票
(プリンター出力したもの)
- WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
写 真
- タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)
3. 調 査 書
- 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)
※特待生チャレンジ：出願期間内に提出することが可能な最新のもの
※Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期：最終学年1学期まで（2期制の場合は前期まで）の学習成績の状況が記載されたもの

次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。

- ①高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。
免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」または「調査書」も提出。
- ②外国における12年の課程を修了したものは、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書（本学所定用紙）」。
- ※②に該当する場合は入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）にご連絡ください。

入学検定料

30,000円

※出願時に入学検定料を納入していただきます。

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy（ペイジー）ATM、Pay-easy（ペイジー）ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については57・58ページを参照してください。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

特待生の選考について

「総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)」のすべての受験生が特待生の選考の対象となります。

合格者の成績上位3名を対象として入学金250,000円を免除します。

特待生の選考結果は内定通知日に通知します。

受験上の注意

- ①集合時間は、受験票の記載により指示されますので確認をしてください。（指示された時間の変更はできません）
 - ②試験室への入室は、集合時間の20分前からです。
 - ③試験の当日は、集合時間までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
 - ④試験会場内では受験票を必ず携帯し、紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
 - ⑤スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。
 - ⑥付添者の控室は設置いたしません。
 - ⑦インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症（学校保健安全法施行規則で規定された感染症）を罹患し治癒していない方は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。
 - ⑧試験場においては、監督者等の指示に従ってください。（監督者等の指示に従わない場合は不正行為となることがあります。）
- ※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。
- ※試験当日の車での来校は、駐車場がありませんのでご遠慮ください。

内定通知・合格発表

- ①内定通知（特待生チャレンジのみ）および合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します（簡易書留・速達）。詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- ②電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

入学手続

- ①入学手続書類は、入学手続締切日（二段階納入方式の場合は、1次手続締切日）までに郵送してください（当日消印有効）。
- ②入学手続時納入金（詳しくは49ページを参照）は、入学手続締切日（当日収納印有効）までに必ず納入してください（二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入）。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は認めません。
- ④前①、②の手続を完了した方には、入学手続締切日以降14日以内（二段階納入方式の場合は、二段階最終締切日より14日以内）に「入学許可書」を送付します。

入学辞退に伴う学費の返還について

入学手続を完了した方が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

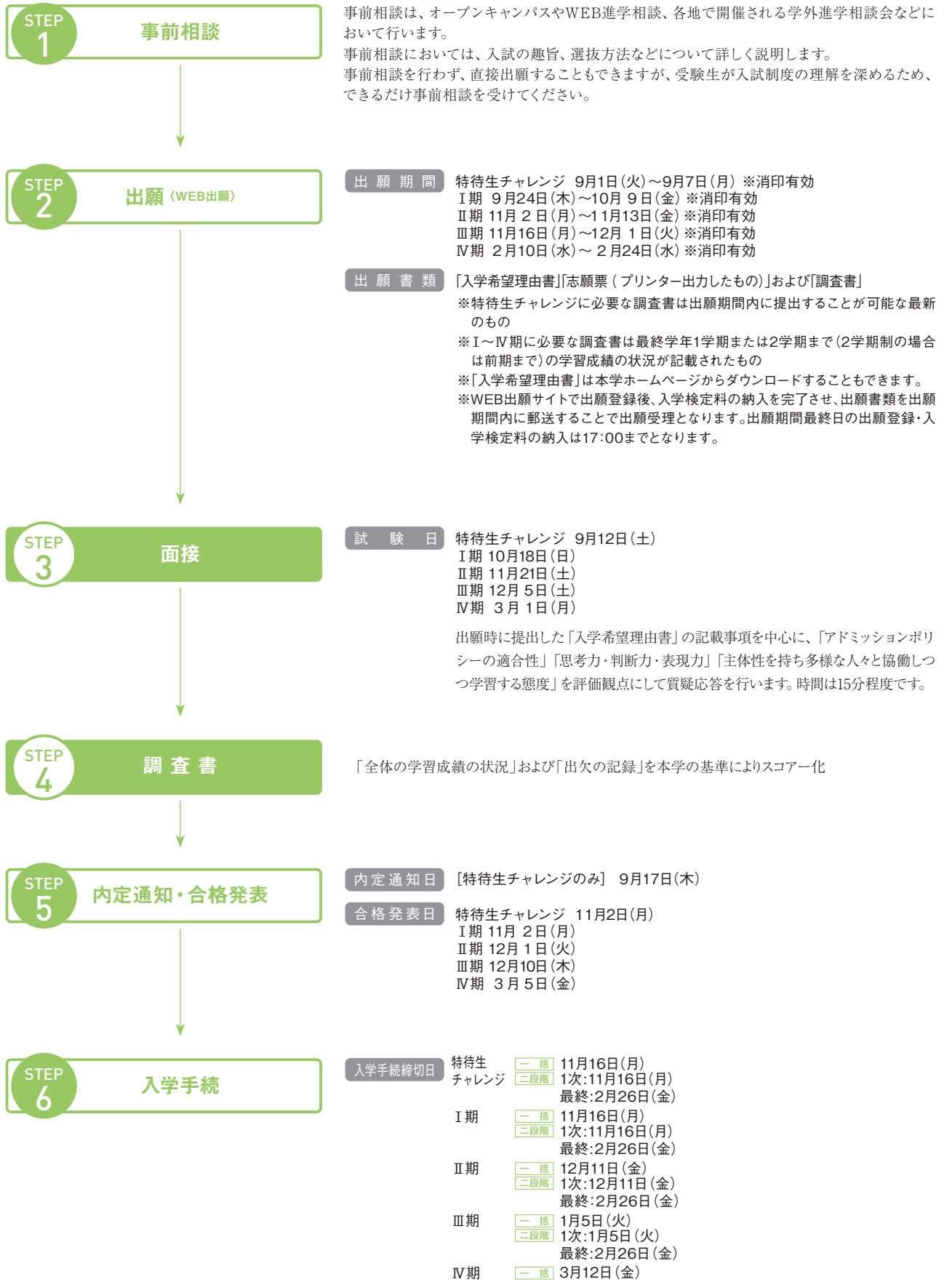
- ①受付期限
2027年3月31日（水）17:00まで
- ②返還手続書類
1) 入学手続金返金願・入学辞退願（本学所定用紙）
2) 入学しようとする大学等の合格通知書の写し
- ③返還方法
返還手続書類を受理した後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

入学金等納付金スライド制度

「総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）」・「総合型選抜（短大）Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期」で入学手続をした方が、その後本学の学部合格し入学手続をする場合は、納入した短期大学部の入学金等納付金は学部納付金としてスライドすることができます。短大の入学を担保しながら、学部へ挑戦することができます。

※総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）で特待生として入学金免除となった方が学部合格をし入学手続をする場合は、学部入学金の納入が必要です。

総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）・ 総合型選抜（短大）Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期の流れ



専願制 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)

併願制 学校推薦型選抜(短大／一般)

■ 学部

■ 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)で求める人材

学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)では、下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学の「建学の精神」に賛同する人。
- (2) 本学を専願として向上心が強く、積極的に学修しようとする人。
- (3) 本学が定めるアドミッションポリシー(AP)に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

■ 出願資格

2027年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者で、

(1)～(4)のすべてに該当し、出身学校長が推薦する女子。

- (1) 本学の建学の精神に賛同する者。
- (2) 本学を専願とし、向上心が強く、積極的かつ意欲的に勉学・修養に精励する者。
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程における全体の学習成績の状況が次に示す値以上の者。
 - ▶ 家政学部家政保健学科、児童学部子ども心理学科、教育学部教育学科、教育メディアクリエーション学環にあっては、3.3以上。
 - ▶ 児童学部児童学科にあっては、3.0以上。
 - ▶ 家政学部管理栄養学科にあっては、3.4以上。
- (4) 家政学部管理栄養学科にあっては、次の条件を満たす者。
「化学基礎」(「理数化学」も可)と「生物基礎」(「理数生物」も可)を履修した者。

※障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、出願受付開始前のできるだけ早い時期に必ず入試・広報センター (TEL:0467-44-2117)まで申し出てください。

■ 選抜方法[学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)]

面接、小論文および調査書(「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化)により選抜を行います。

※面接：「入学希望理由書」(出願時提出)の記載事項を中心に「アドミッションポリシーの適合性」「思考力」「判断力」「表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を観点に、質疑応答を行います。時間は10分程度です。
※小論文：学科・学環ごとで指定する課題(P.31～34に記載)について小論文をまとめます。試験時間は60分です。

■ 短大

■ 学校推薦型選抜(短大／一般)で求める人材

学校推薦型選抜(短大／一般)では、下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学の「建学の精神」に賛同する人。
- (2) 向上心が強く、積極的に学修しようとする人。
- (3) 本学が定めるアドミッションポリシー(AP)に適合し、入学後、活躍が期待できる人。

■ 出願資格[学校推薦型選抜(短大／一般)]

2027年3月に高等学校または中等教育学校を卒業見込みの者で、

(1)～(3)のすべてに該当し、出身学校長が推薦する女子。

- (1) 本学の建学の精神に賛同する者。
- (2) 向上心が強く、積極的かつ意欲的に勉学・修養に精励する者。
- (3) 高等学校または中等教育学校後期課程において積極的に学習に取り組み、かつ「保健体育」、「芸術(音楽・美術・工芸・書道)」のいずれか1つの教科の学習成績の状況が3.2以上の者。

※障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、出願受付開始前のできるだけ早い時期に必ず入試・広報センター (TEL:0467-44-2117)まで申し出てください。

■ 選抜方法[学校推薦型選抜(短大／一般)]

面接および調査書(「全体の学習成績の状況」および「出欠の記録」を本学の基準によりスコア化)により選抜を行います。

※面接：「入学希望理由書」(出願時提出)の記載事項を中心に「アドミッションポリシーの適合性」「思考力」「判断力」「表現力」「主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度」を観点に、質疑応答を行います。時間は10分程度です。

■ 日程・試験会場

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日(消印有効)	試験会場
学校推薦型選抜 (短大／一般)	2026年 11月2日(月)～11月13日(金)	2026年 11月21日(土)	2026年 12月1日(火)	一括 2026年 12月11日(金) 二段階 1次：2026年 12月11日(金) 最終：2027年 2月26日(金)	本学(大船キャンパス)
学校推薦型選抜 (学部・専願制／一般)	2026年 11月2日(月)～11月13日(金)	2026年 11月22日(日)	2026年 12月1日(火)	一括 2026年 12月11日(金) 二段階 1次：2026年 12月11日(金) 最終：2027年 2月26日(金)	

※集合時間は、受験票の記載により指示されます。

※学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)と総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期の両方に出願することはできません。

■ 出願書類

- 1. 志 願 票 WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
(プリンター出力したもの) 詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
- 写 真 タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科・学環を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)
- 2. 推 薦 書 本学所定用紙(本学ホームページからもダウンロードできます)
- 3. 入学希望理由書 本学所定用紙(本学ホームページからもダウンロードできます)
- 4. 調 査 書 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)
最終学年1学期まで(2期制の場合は前期まで)の「学習成績の状況」が記載されたもの。

学部と短大を併願する場合、志願票は1枚に集約されます。推薦書および入学希望理由書は学部と短大それぞれ必要になります。また、その際調査書は1通で構いません。

入学検定料

30,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy（ページ）ATM、Pay-easy（ページ）ネットバンキングのいずれかでの納入となります。
各納入方法については57・58ページを参照してください。
※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

▶学校推薦型選抜（一般）で学部と短大を学内併願する場合も1回の入学検定料で受験できます。

「学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）」と「学校推薦型選抜（短大／一般）」を学内併願する場合は1回の入学検定料（30,000円）で受験できます。

※「学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）」と「学校推薦型選抜（短大／一般）」を学内併願する場合は、「学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）」と「学校推薦型選抜（短大／一般）」の両方を受験する必要があります（試験日が異なります）。
※「学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）」と「学校推薦型選抜（短大／一般）」の両方が合格となった場合は、「学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）」で合格した学科・学環で入学手続していただきます。

幼稚園教諭を目指す受験生は…

児童学科

OR

子ども心理学科

OR

教育メディアクリエーション学環

+

初等教育学科(短大)

保育士を目指す受験生は…

児童学科

+

初等教育学科(短大)

小学校教諭を目指す受験生は…

児童学科

OR

子ども心理学科

OR

教育学科

OR

教育メディアクリエーション学環

+

初等教育学科(短大)

※短期大学部初等教育学科の在籍者が学部編入学、短期大学部専攻科へ進学する場合、学部編入学と短期大学部専攻科の入学金は免除されます。

第2志望について

- 第1志望の学科・学環で合格圏に入らなかった場合、志願票にあらかじめ第2志望の申請があれば、第2志望の学科・学環であらためて合否判定をいたします。ただし、管理栄養学科を第2志望とすることはできません。
- 第2志望の学科・学環で合格となった場合は、入学手続を行わなくても差し支えありません。
- 第2志望を申請しても入学検定料は30,000円です。

第1志望 第2志望			大 学					
			家政学部		児童学部		教育学部	教育メディア クリエーション学環
			家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科	
大学	家政学部	家政保健学科		○	○	○	○	○
		管理栄養学科	×		×	×	×	×
	児童学部	児童学科	○	○		○	○	○
		子ども心理学科	○	○	○		○	○
	教育学部	教育学科	○	○	○	○		○
	教育メディアクリエーション学環		○	○	○	○	○	

不正行為

- カンニング（メモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
- 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- 配付された問題を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- 「はじめてください。」の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。
- 試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- 「書くのをやめてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

受験上の注意

- 集合時間は、受験票の記載により指示されますので確認をしてください。（指示された時間の変更はできません）
- 試験室への入室は、集合時間の20分前からです。
- 試験当日は、集合時間までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
- 試験会場内では受験票を必ず携帯し、学部の小論文の時間中は机上に置いてください。紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。学部の小論文の時間中、机上には受験票、筆記用具、時計しか置けません。
- 学部の小論文の時間中は受験票、筆記用具、時計以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。小論文試験は60分です。試験途中の退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません。
- 付添者の控室は設置いたしません。
- インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症（学校保健安全法施行規則で規定された感染症）を罹患し治癒していない方は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。
- 試験場においては、監督者等の指示に従ってください。（監督者等の指示に従わない場合は不正行為となることがあります。）

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。
※試験当日の車での来校は、駐車場がありませんのでご注意ください。

合格発表

- 合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します（簡易書留・速達）。第2志望を申請し、「不合格」となった場合、第1志望、第2志望とも不合格であることを示します。詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

入学手続

- ➊ 入学手続書類は、入学手続締切日（二段階納入方式の場合は、1次手続締切日）までに郵送してください（当日消印有効）。
- ➋ 入学手続時納入金（詳しくは49ページを参照）は、入学手続締切日（当日収納印有効）までに必ず納入してください（二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入）。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ➌ 合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は認めません。
- ➍ 前➊、➋の手続を完了した方には、入学手続締切日以降14日以内（二段階納入方式の場合は、二段階最終締切日より14日以内）に「入学許可書」を送付します。
- ➎ 学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）は専願制の入試につき、入学手続後の辞退および入学手続時納入金の返還には応じられません。
この件についてのお問い合わせは、入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）までお願いします。

入学辞退に伴う学費の返還について[学校推薦型選抜（短大／一般）]

学校推薦型選抜（短大／一般）で入学手続を完了した方が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ➊ 受付期限
2027年3月31日（水）17:00まで
- ➋ 返還手続書類
 - 1) 入学手続金返金願・入学辞退願（本学所定用紙）
 - 2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し
- ➌ 返還方法
入学辞退届受領後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

入学金等納付金スライド制度

既に本学の学科・学環に併願制入試（学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）の第2志望合格者を含む）で合格し、入学手続をしている方が、その後他学科・学環に合格し入学手続をする場合、入学手続期間内に入試・広報センター（TEL:0467-44-2117）に連絡のうえ、所定の手続を行うことにより、納入した入学金等納付金をスライドすることができます。入学を担保しながら他学科・学環へ挑戦することができます。

学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)小論文課題

[家政保健学科]

課題	気候変動に伴う自然災害が激化する中で、地域住民の連携による防災・減災の重要性が高まっています。地域の一員としてできる取り組みについて、あなたの考えを800字以内で述べてください。
----	---

[管理栄養学科]

課題	食の嗜好やライフスタイルの変化等を背景に、和食(*1)や地域の郷土料理、伝統料理に触れる機会が少なくなってきたおり、和食文化の保護・継承に向けて、郷土料理等を受け継ぎ、次世代に伝えていくことが課題となっている。 このため、農林水産省では、子どもたちや子育て世代に対して和食文化の普及活動を行う中核的な人材である「和食文化継承リーダー」を育成する取り組みを実施している。そして、地域固有の多様な食文化の保護・継承を図るため、各地域で選定された郷土料理の歴史やレシピ、郷土料理を生んだ地域の背景等を紹介するウェブサイト「うちの郷土料理」と、その英語サイト「Our Regional Cuisines」にて情報発信しているほか、令和4(2022)年度にウェブサイト「にっぽん伝統食図鑑」を開設し、伝統的な加工食品の歴史や製造方法等の情報を発信している。さらに、身近で手軽に健康的な和食を食べる機会を増やしてもらい、将来にわたって和食文化を受け継いでいくことを目指した、官民協働の取組である「Let's! 和ごはんプロジェクト」を実施している。 一方、文化庁では、日本の豊かな風土や人々の精神性、歴史に根差した多様な食文化を次の世代へ継承するために、文化財保護法に基づく文化財の登録等を進めるとともに、各地の食文化振興の取組に対する支援、食文化振興の機運醸成に向けた情報発信等を行っている。 *1 「和食」とは、「自然を尊重する」ということに基づいた日本人の食慣習をさす。「和食；日本人の伝統的な食文化」として平成25(2013)年12月にユネスコ無形文化遺産に登録された。 「あなたが住んでいる地域において『郷土料理や伝統料理』として知られている料理」、または、『和食料理』として知られている料理」、どちらか1つを挙げ、どのような特徴をもった料理であるか、具体的に特徴を2つ挙げて説明しなさい。そのうえで、あなたは管理栄養士として、未来の和食文化(地域の郷土料理や伝統料理、和食)をどのようなものにしていきたいと考えるか、大きく分けて2つ提案しなさい。なお、実現可能性は問わない。合計で、600字以上800字以内で記述すること。
----	--

[児童学科]

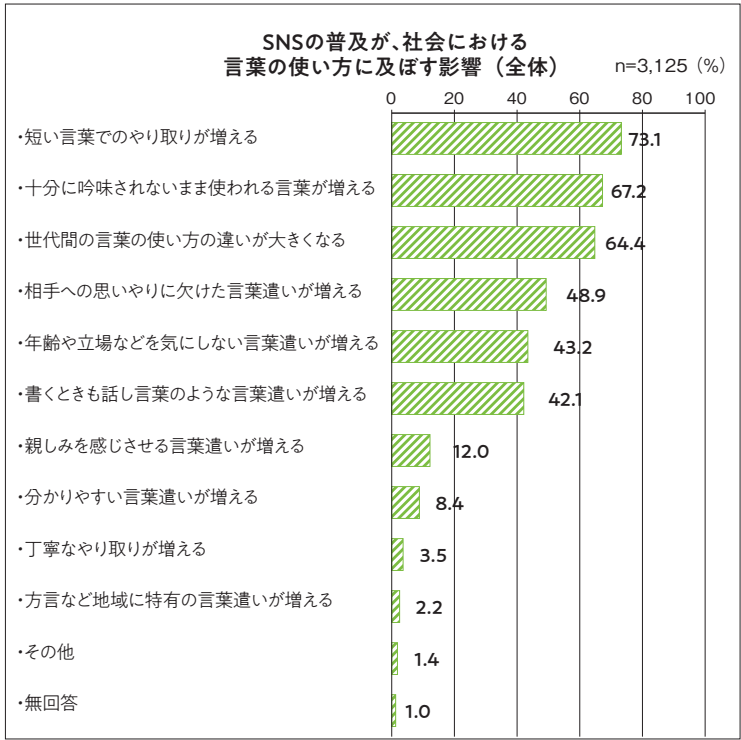
課題	2026年4月から「子ども誰でも通園制度」が本格的に始まりました。この制度が創設された背景について説明し、制度に関するあなたの考えを600字程度で述べてください。
----	---

[子ども心理学科]

課題	こども家庭庁は、全国の10歳から39歳の男女20,000人を対象として、「こども・若者総合調査(令和7年度)」を実施しました。そのうち、10歳から14歳の対象者に対して「困難に直面した経験」および「落ち込んだ状態から元に戻ったきっかけ」について質問しました。その結果を示したものが、以下の2つの図表です。 では、この2つの図表からどのようなことが読み取れるでしょうか。2つの図表の結果を説明し、落ち込んだ状態から元に戻るきっかけにおいて、心理支援が果たす役割や意義についてあなたの考えを600～800字でまとめて下さい。 図表 落ち込んだ経験 (10歳～14歳) <table border="1"><thead><tr><th>経験があった(ある) (計)</th><th>経験がなかった(ない) (計)</th></tr></thead><tbody><tr><td>79.7</td><td>16.8</td></tr></tbody></table> 図表 落ち込んだ状態から元に戻ったきっかけ (10歳～14歳) <table border="1"><thead><tr><th>きっかけ</th><th>割合 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>友だちの助け</td><td>61.9</td></tr><tr><td>家族や親せきの助け</td><td>61.0</td></tr><tr><td>自分の努力で乗りこえたこと</td><td>39.7</td></tr><tr><td>時間がたつて状況が変化したこと</td><td>37.7</td></tr><tr><td>学校の先生に相談したこと</td><td>21.5</td></tr><tr><td>趣味の活動に参加したこと</td><td>15.3</td></tr><tr><td>経験をした人に話してみたこと</td><td>8.5</td></tr><tr><td>同じようにうまくいかなかったこと</td><td>6.4</td></tr><tr><td>AI(生成AIサービス)を利用したこと</td><td>3.9</td></tr><tr><td>SNSやメール相談などを利用したこと</td><td>3.9</td></tr><tr><td>わどが越つて、まわりの環境が変化したこと</td><td>3.5</td></tr><tr><td>スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと</td><td>2.8</td></tr><tr><td>病院に行つて相談したこと</td><td>1.4</td></tr><tr><td>相談できる場所に行つて相談したこと</td><td>1.3</td></tr><tr><td>地域の人の助け</td><td>0.3</td></tr><tr><td>電話相談を利用したこと</td><td>5.3</td></tr><tr><td>その他</td><td>3.3</td></tr><tr><td>わからない、答えられない</td><td>0.1</td></tr><tr><td>無回答</td><td>0.1</td></tr></tbody></table> 図 こども家庭庁「こども・若者総合調査(令和7年度)」より抜粋	経験があった(ある) (計)	経験がなかった(ない) (計)	79.7	16.8	きっかけ	割合 (%)	友だちの助け	61.9	家族や親せきの助け	61.0	自分の努力で乗りこえたこと	39.7	時間がたつて状況が変化したこと	37.7	学校の先生に相談したこと	21.5	趣味の活動に参加したこと	15.3	経験をした人に話してみたこと	8.5	同じようにうまくいかなかったこと	6.4	AI(生成AIサービス)を利用したこと	3.9	SNSやメール相談などを利用したこと	3.9	わどが越つて、まわりの環境が変化したこと	3.5	スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	2.8	病院に行つて相談したこと	1.4	相談できる場所に行つて相談したこと	1.3	地域の人の助け	0.3	電話相談を利用したこと	5.3	その他	3.3	わからない、答えられない	0.1	無回答	0.1
経験があった(ある) (計)	経験がなかった(ない) (計)																																												
79.7	16.8																																												
きっかけ	割合 (%)																																												
友だちの助け	61.9																																												
家族や親せきの助け	61.0																																												
自分の努力で乗りこえたこと	39.7																																												
時間がたつて状況が変化したこと	37.7																																												
学校の先生に相談したこと	21.5																																												
趣味の活動に参加したこと	15.3																																												
経験をした人に話してみたこと	8.5																																												
同じようにうまくいかなかったこと	6.4																																												
AI(生成AIサービス)を利用したこと	3.9																																												
SNSやメール相談などを利用したこと	3.9																																												
わどが越つて、まわりの環境が変化したこと	3.5																																												
スクールカウンセラーなど学校にいる専門家に相談したこと	2.8																																												
病院に行つて相談したこと	1.4																																												
相談できる場所に行つて相談したこと	1.3																																												
地域の人の助け	0.3																																												
電話相談を利用したこと	5.3																																												
その他	3.3																																												
わからない、答えられない	0.1																																												
無回答	0.1																																												

[教育学科]

次の表は文化庁の「令和6年度国語に関する世論調査の結果の概要」の17ページに掲載されているものです(下の QR コードを参照)。「あなたは、SNSの普及によって、社会で使われる文字や語句、また、社会における言葉の使い方に影響があると思いますか。それとも、影響はないと思いますか。(一つ回答)」という問いに対して、「大きな影響がある」「多少影響があると思う」と答えた人に対して重ねて次の質問をしました。「社会における言葉の使い方にどのような影響があると思いますか。この中から幾つでも選んでください。」この問いに対する回答結果を表したのが下記のグラフです。



このグラフの結果を読み解き、あなたは対面で他者と話すときにどのようなことに気をつけたいと思いますか。700字以上800字以内で述べてください。
(例)「世代間の言葉の使い方の違いが大きくなる64.4%」について述べる。それをまだ知らない他者にとっては、失礼なときがあるため、相手に不快な思いをさせないように気をつけなければならない。

出典 文化庁
https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/pdf/94274201_02.pdf

[教育メディアクリエーション学環]

課題

総務省が公表した令和7年版「情報通信白書」の第2章第6節「ICT 利活用の推進」では、「重要データの安心・安全な活用促進」の項で、「教育分野における ICT 利活用の推進」として、「デジタル教育プラットフォーム」の取り組みを簡潔に紹介しています。この取り組みは、総務省ウェブサイトの「教育分野における PDS の技術的要件等に関する調査研究」のページに詳しく紹介されています。PD とはパーソナルデータ、つまり個人データのこと、PDS とは PD をストア(蓄積)する仕組みのことで、「他者保有データの集約を含め、個人が自らの意思で自らのデータを蓄積・管理するための仕組み(システム)であって、第三者への提供に係る制御機能(移管を含む)を有するもの。」と定義されています。具体的には学校、学習塾、デジタル教材・学習サービス事業者等で蓄積された学習者の学習時間、ページごとの閲覧時間、小テスト・単元テストの正答率、デジタル教材の操作状況などの学習履歴データを、学習者自らの意思でデータの管理・提供に同意し、学校、学習塾、デジタル教材・学習サービス事業者が分析した結果を、学習者にアプリなどを介して表やグラフで示し、強みや弱みを文章で示したり、学校の教師、学習塾の講師、家庭教師などが見て学習指導に活用したりすることです。

この調査研究の「令和7年度の取組」では「教育分野における PDS に関する参照文書第2.0版」が PDF で提供されています。この文書の14ページには、令和6年度、7年度の実証研究の結果から、学習者本人が学習や生活の振り返りを行う際に期待される効果として「学習へのモチベーション向上」「学習計画立案の効率化」「学習課題の把握及び改善」が挙げられています。この3つ目の「学習課題の把握及び改善」についての説明では「自身の成績や日々の学習状況を確認し、学習上の課題の改善や学習習慣の見直しを図る。」とあり、脚注に「学習者本人による PD 活用にあたっては、教員、保護者等によるサポートや、将来的にはパーソナル AI によるレコメンドといった補助手段を合わせて用いることが有効と考えられる。」と述べられています。

この脚注に注目し、あなた自身の学習履歴をふり返り、学年、教科を具体的に挙げて、教員としての立場を想定して、PDS がない場合のサポートと PDS がある場合のサポート、また PDS を活用するパーソナル AI によるサポートの3つのサポートを比較しながらメリット、デメリットの両面について論じてください。700字以上800字以内で記述してください。

出典 「令和7年版情報通信白書」(総務省)
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/r07/html/nd226230.html>

「教育分野における PDS の技術的要件等に関する調査研究」(総務省)



併願制 一般選抜

- ・一般選抜 A日程(学部／特待生チャレンジ) ・一般選抜 A日程(短大／特待生チャレンジ)
- ・一般選抜 B日程(学部) ・一般選抜 B日程(短大)

一般選抜 A日程(学部／特待生チャレンジ)で求める人材

一般選抜 A日程(学部／特待生チャレンジ)では下記の(1)～(4)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 各学科・学環が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 高等学校卒業段階の英語4技能の資質を有する人。
- (4) 特待生として他の学生をリードしようとする意欲のある人。

一般選抜 A日程(短大／特待生チャレンジ)で求める人材

一般選抜 A日程(短大／特待生チャレンジ)では下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 初等教育学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 特待生として他の学生をリードしようとする意欲のある人。

一般選抜 B日程(学部)で求める人材

一般選抜 B日程(学部)では下記の(1)～(3)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 各学科・学環が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 高等学校卒業段階の英語4技能の資質を有する人。

一般選抜 B日程(短大)で求める人材

一般選抜 B日程(短大)では下記の(1)(2)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 初等教育学科が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。

出願資格

文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2027年3月31日までに有する見込みの女子。
(6ページ参照)

※ 障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、
2026年12月4日(金)までに「一般選抜合理的配慮申請書」により申請してください。(詳しくは39ページを参照)

選抜方法

学力試験および調査書により選抜を行います。

試験教科・科目および試験時間[A日程特待生チャレンジ・B日程共通]

・試験当日は、各教科の試験開始時間15分前までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。「受験にあたっての諸注意」を行います。

学部・学科・学環		教科数		教科	試験科目	配点	試験時間		
							10:00～11:00	11:30～12:30	13:30～14:30
家政学部	家政保健学科	2教科	必須	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
				外国語 ^{※1}	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ	100			
	管理栄養学科	2教科	選択	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	理科
				外国語 ^{※1}	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ	100			
			必須	理科	『化学基礎』『生物基礎』※ 2科目の中から 1 科目選択	100			
児童学部	児童学科	2教科	必須	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
				外国語 ^{※1}	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ	100			
	子ども心理学科	2教科	必須	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
				外国語 ^{※1}	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ	100			
教育学部	教育学科	2教科	必須	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
				外国語 ^{※1}	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ	100			
教育メディア クリエーション学環		2教科	必須	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語	外国語	
				外国語 ^{※1}	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ	100			
初等教育学科		1教科	必須	国語	現代の国語、言語文化（古文・漢文を除く）※ 20 字～ 30 字程度の記述問題を含む	100	国語		

※ 一般選抜の「国語」の試験問題は、学部と短大の共通問題です。学部と短大を併願する場合、学部で受験された「国語」の成績を短大の可否判定に使用します。ただし管理栄養学科に出願する場合には、短大を併願することはできません。

※1 英語外部検定利用について(大学のみ)

英語外部検定試験のスコアを下表の基準に従い、本学の試験科目「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ」の得点に換算します。

	65点換算	75点換算	85点換算	95点換算
実用英語技能検定(英検) (従来型、S-CBT、S-Interview)	1700	1950	2300	2600
TEAP	135	225	309	375
GTEC (検定版、CBT)	680	930	1180	1350

※英語外部検定試験利用はWEB出願時に申請し、出願することにより外部検定試験のスコアと取得年月を証明する書類(コピー可)を1部提出してください。
※各外部検定試験は2024年4月以降に受験したものに限り、
※実用英語技能検定(英検)は従来型、S-CBT、S-Interviewが利用できます。
※GTECは検定版、CBTが利用できます。アセスメント版は利用できません。
※英語外部検定試験の利用を申請していても、試験当日に「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ」を受験することが可能です。その場合は、換算得点と本学試験の得点の高い方のいずれかを可否判定に用います。
※英語外部検定試験の利用を申請した場合、試験当日「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理・表現Ⅰ」を受験しないことが可能です。
※管理栄養学科の教科選択で国語を選択した場合は、利用できません。

日程

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日(消印有効)	試験会場(41ページ参照)
A日程 学部／ 特待生チャレンジ	2027年 1月4日(月)～1月18日(月)	2027年 1月23日(土)	2027年 1月28日(木)	一括2027年2月5日(金) 二段階1次:2027年2月5日(金) 最終:2027年2月26日(金)	・本学:大船キャンパス ・東京会場:東京国際フォーラム (収容人数70名) ・静岡会場:静岡学園なごみ高等学校 (旧:静岡学園早慶セミナー) (収容人数80名) ・新潟会場:コープシティ花園[GARESSO] (収容人数35名)
A日程 短大／ 特待生チャレンジ	2027年 1月4日(月)～1月18日(月)	2027年 1月23日(土)	2027年 1月28日(木)	一括2027年2月5日(金) 二段階1次:2027年2月5日(金) 最終:2027年2月26日(金)	
B日程 学部	2027年 1月4日(月)～2月4日(木)	2027年 2月9日(火)	2027年 2月16日(火)	一括2027年2月22日(月) 二段階1次:2027年2月22日(月) 最終:2027年2月26日(金)	本学(大船キャンパス)
B日程 短大	2027年 1月4日(月)～2月4日(木)	2027年 2月9日(火)	2027年 2月16日(火)	一括2027年2月22日(月) 二段階1次:2027年2月22日(月) 最終:2027年2月26日(金)	

※1 一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)・一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)の試験会場については出願時に選択できますが、地区入試会場の場合、志願者数が収容人数の上限に達したときには、本学(大船キャンパス)での受験になります。

特待生の選考について

「一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)」「一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)」のすべての受験者を対象として、試験の成績及び調査書の「総合的な探究の時間の内容・評価」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」を中心に「主体性等」を評価観点として加味した上で選考します。

特待生としての合格枠は、大学は50名、短期大学部は2名です。成績優秀者(試験の成績及び「調査書(主体性等の観点評価)」で選考)に対して1年次700,000円を給費。2年次以降(最長4年)は350,000円が給費されます。

(ただし、2年次以降、前年の年間の成績が基準(GPA3.0)を下回った場合は支給されません。また、それ以降の年度においても支給されません。)

併願制の年内入試出願者だけでなく、専願制である総合型選抜(学部・専願制／探究)、学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)、学校推薦型選抜(指定校)の1次手続完了者、入学手続完了者も入学検定料免除でチャレンジ可能！

※総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)の特待生としての1次手続完了者・入学手続完了者は学部合格のために一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で受験することが可能です。ただし、一般選抜(特待生チャレンジ)で特待生になることはできません。また、総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)で特待生として入学金免除となった方が学部合格をし入学手続をする場合は、学部の入学金の納入が必要です。

第2志望について

① 第1志望の学科・学環で合格圏に入らなかった場合、志願票にあらかじめ第2志望の申請があれば、第2志望の学科・学環であらためて合否判定をいたします。ただし、管理栄養学科を第2志望とすることはできません。また、管理栄養学科を第1志望とする場合は、第2志望の申請ができません。詳細は下表を参照してください。

② 第2志望を申請しても入学検定料は30,000円です。

第1志望 第2志望			大 学					
			家政学部		児童学部		教育学部	教育メディア クリエーション学環
			家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科	
大学	家政学部	家政保健学科		×	○	○	○	○
		管理栄養学科	×		×	×	×	×
	児童学部	児童学科	○	×		○	○	○
		子ども心理学科	○	×	○		○	○
	教育学部	教育学科	○	×	○	○		○
	教育メディアクリエーション学環		○	×	○	○	○	

出願書類

1. 志 願 票
- WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
(プリンター出力したもの) 詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
- 写 真
- タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科・学環を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)

2. 調 査 書
- 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)
次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。
① 高等学校卒業程度認定試験または大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。
免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」または「調査書」も提出。
② 外国における12年の課程を修了した者は、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書(本学所定用紙)」。
※複数日程を同時出願する場合や共通テスト利用も合わせて出願する場合は、どちらかの「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた1つの封筒にまとめて郵送してください。その場合、調査書は1通提出してください。
また、専願制の年内入試の1次手続完了者、入学手続完了者が特待生チャレンジに出願する場合、調査書はあらたに1通提出してください。
※学部と短大を併願する場合、志願票は1枚に集約されます。その際、調査書は1通で構いません。

3. 英語外部検定試験のスコアおよび取得年月を証明する書類 (コピー可)
- ※出願時に英語外部検定利用を申請した場合のみ。
※複数日程を同時にし出願する場合、スコアおよび取得年月を証明する書類(コピー可)の提出は1通で構いません。

入学検定料

30,000円
※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。
各納入方法については57・58ページを参照してください。
※複数日程を同時出願する場合は、「入学検定料免除制度」が適用されるため、入学検定料は1回分になります。
※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

▶ 一般選抜で学部と短大を学内併願する場合も1回の入学検定料で受験できます。

一般選抜で学部と短大を学内併願する場合は1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。

※管理栄養学科に出願する場合には、短大を併願することはできません。
※一般選抜の「国語」の試験問題は、学部と短大の共通問題です。学部と短大を併願する場合、学部で受験された「国語」の成績を短大の合否判定に使用します。

【学内併願パターンの一例】

幼稚園教諭を目指す受験生は…

児童学科 OR 子ども心理学科 OR 教育メディアクリエーション学環

+

初等教育学科(短大)

保育士を目指す受験生は…

児童学科

+

初等教育学科(短大)

小学校教諭を目指す受験生は…

児童学科 OR 子ども心理学科 OR 教育学科 OR 教育メディアクリエーション学環

+

初等教育学科(短大)

※短期大学部初等教育学科の在籍者が学部編入学、短期大学部専攻科へ進学する場合、学部編入学と短期大学部専攻科の入学金は免除されます。

障害や疾病のある受験生への合理的配慮

一般選抜において、合理的配慮申請を行う時は、事前に下記の事項を了承の上、申請してください。申請された方は、下記の事項に同意されたものと見なして、検討・回答いたします。申請をお考えの方は、事前に入試・広報センターまでご連絡ください。（申請書は本学ホームページからダウンロードできます。）

申請者

合理的配慮申請は、必ず本人が行ってください。やむを得ず本人が申請できない場合でも、必ず本人の同意を得てください。

申請締切日

2026年12月4日（金）〔必着〕

※対象は一般選抜A日程（学部／特待生チャレンジ）、一般選抜A日程（短大／特待生チャレンジ）、一般選抜B日程（学部）、一般選抜B日程（短大）の一般選抜全日程。

※締切日までに申請がなかった場合、合理的配慮対応ができない場合があります。

ただし、緊急な事由でやむを得ず申請が必要になった際は、〔入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）〕にご相談ください。

不正行為

- ①カンニング（メモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど。）をすること。
- ②他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ③配付された問題を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ④解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「はじめてください。」の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に、定規（定規の機能を備えた鉛筆等を含む。）、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑦試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧「書くのをやめてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。

受験上の注意

- ①試験当日は、**各試験の試験開始時間15分前**までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
試験開始時刻に遅刻した場合は、**試験開始時刻後30分以内**に限り、受験を認めます。
なお、交通機関の遅延等やむを得ない場合は、試験時間を試験会場単位で繰り下げることがあります。
- ②試験会場内では受験票を必ず携帯し、受験中は机上に置いてください。
紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ③試験室入室後は、スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。
机上には受験票、筆記用具、時計しか置けません。
また、スマートフォン・携帯電話を時計がわりに使用することはできません。
- ④耳栓の使用はできません。
- ⑤計算機能・辞書機能付き腕時計や電卓等の持ち込みはできません。
- ⑥試験中は受験票、解答に必要な筆記用具、時計以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。
- ⑦試験時間が午後にわたる方（管理栄養学科志願者）は、昼食を持参してください。
試験終了まで試験会場外に出ることはできません。
- ⑧出願時に選択した科目の変更はできません。
- ⑨各試験科目の**試験時間は60分**です。途中退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。
ただし、**退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません**。
英語外部検定試験の利用を申請した場合、試験当日「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ、論理表現Ⅰ」を受験しないことが可能です。
- ⑩付添者の控室は設置いたしません。
- ⑪インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症（学校保健安全法施行規則で規定された感染症）を罹患し治癒していない方は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。
- ⑫試験場においては、監督者等の指示に従ってください。（監督者等の指示に従わない場合は不正行為となることがあります）

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車での来場は、駐車場がありませんのでご注意ください。

合格発表

- ①合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。
合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します（簡易書留・速達）。
第2志望を申請し、「不合格」となった場合、第1志望、第2志望とも不合格であることを示します。
一般選抜B日程の不合格者に対する文書での通知は行いません。
詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- ②電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

繰り上げ合格について

入学手続状況により、不合格者のなかから繰り上げ合格を発表することがあります。繰り上げ合格となった場合には、出願時に登録（入力）された電話番号もしくは携帯番号への電話連絡により入学の意思確認を行った上で、合格通知書を郵送します。

入学手続

- ①入学手続書類は、入学手続締切日（二段階納入方式の場合は、1次手続締切日）までに郵送してください（当日消印有効）。
- ②入学手続時納入金（詳しくは49ページを参照）は、入学手続締切日（当日収納印有効）までに必ず納入してください（二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入）。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。
- ④前①、②の手続を完了（完納）した方には、入学手続締切日以降14日以内（二段階納入方式の場合は、二段階最終締切日より14日以内）に「入学許可書」を送付します。

入学辞退に伴う学費の返還について

一般選抜で入学手続を完了した方が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ①受付期限
2027年3月31日（水）17:00まで
- ②返還手続書類
 - 1) 入学手続金返金願・入学辞退願（本学所定用紙）
 - 2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し
- ③返還方法
返還手続書類を受理した後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

入学金等納付金スライド制度

鎌倉女子大学または鎌倉女子大学短期大学部の併願制入試において入学手続きをし、本学の他入試において他の学科・学環に合格し入学手続きをする場合は納入済の入学金等納付金を振替えることが可能です。例えば、「学校推薦型選抜（短大／一般）」で合格し、短期大学部に入学金等納付金を納入し入学手続きを完了させても、その後受験した「一般選抜A日程（学部／特待生チャレンジ）」で児童学部児童学科に合格したなどの場合、納入した短期大学部の入学金等納付金を児童学部児童学科の納付金としてスライドすることができる制度です。この制度により、第2志望学科・学環の入学を担保しながら第1志望学科・学環へ安心して挑戦することができます。

制度を利用する場合には、入学手続期間内に入試・広報センター（TEL：0467-44-2117）に連絡のうえ、所定の手続を行ってください。

※「総合型選抜（学部・専願制／探究）」・「学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）」の第2志望合格者も入学金等納付金のスライド制度を利用することが可能です。

一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)、一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ) の地区入試会場

試験日:2027年1月23日(土)

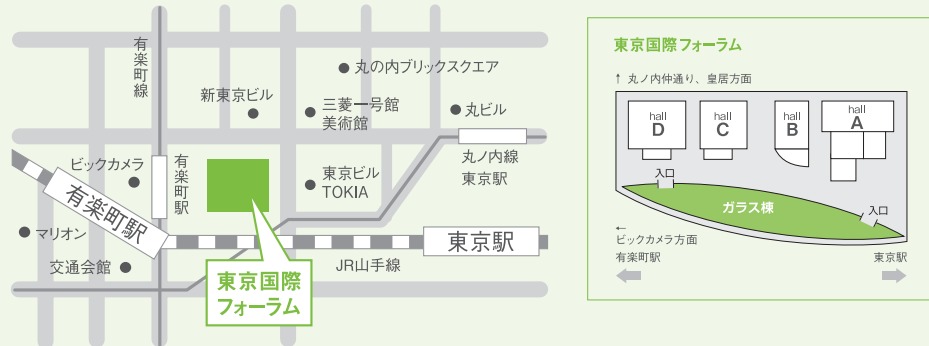
地区入試会場において志願者数が収容人数の上限に達したときには、本学(大船キャンパス)での受験になります。

※「一般選抜B日程」は、
本学会場のみで行います。

東京会場:東京国際フォーラム ガラス棟5F

収容人数:70名

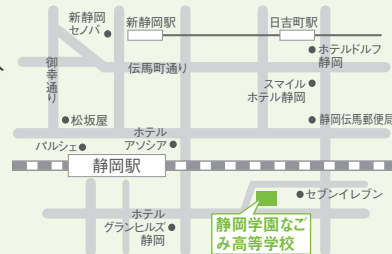
■交通アクセス
●JR有楽町駅から徒歩1分
●所在地
千代田区丸の内3-5-1
TEL:03-5221-9000



静岡会場:静岡学園なごみ高等学校 (旧:静岡学園早慶セミナー)

収容人数:80名

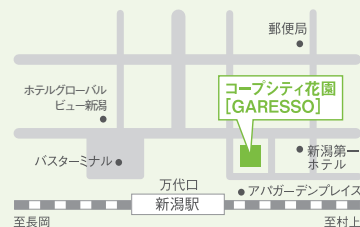
■交通アクセス
●JR静岡駅から徒歩5分
●所在地
静岡市駿河区八幡
1-1-1
TEL:054-281-0191



新潟会場:コープシティ花園 [GARESSO]

収容人数:35名

■交通アクセス
●JR新潟駅万代口から
連絡通路と直結
●所在地
新潟市中央区花園
1-2-2
TEL:025-248-7511



大学近隣の宿泊施設

宿泊を希望する方は、直接ホテルに申し込んでください。

ホテル名	最寄り駅・アクセス	所在地	電 話
JR東日本ホテルメッツかまくら大船	JR大船駅 徒歩3分	鎌倉市大船1-2-1	0467-40-1192
相鉄フレッサイн鎌倉大船駅笠間口	JR大船駅 徒歩1分	鎌倉市大船1-26-5	0467-42-2031
相鉄フレッサイн鎌倉大船駅東口	JR大船駅 徒歩2分	鎌倉市大船1-22-3	0467-66-7203
相鉄フレッサイн横浜戸塚	JR戸塚駅 徒歩2分	横浜市戸塚区戸塚町16-8	045-860-2031
スーパーホテル戸塚駅東口	JR戸塚駅 徒歩2分	横浜市戸塚区吉田町3002番地3	045-864-9000
スマイルホテル湘南藤沢	JR藤沢駅 徒歩2分	藤沢市南藤沢19-12	0466-23-1116
アルモントイン湘南藤沢	JR藤沢駅 徒歩3分	藤沢市藤沢110-4	0466-55-2441
KOKO STAY湘南藤沢	JR藤沢駅 徒歩2分	藤沢市藤沢109-5	0466-55-1112
湘南鎌倉クリスタルホテル	JR藤沢駅 徒歩5分	藤沢市南藤沢14-1	0466-28-2111
ホテル法華クラブ湘南藤沢	JR藤沢駅 徒歩5分	藤沢市鵠沼石上1-6-1	0466-27-6101
東横イン湘南鎌倉藤沢駅北口	JR藤沢駅 徒歩4分	藤沢市藤沢515-1	0466-53-1045
鎌倉パークホテル	JR鎌倉駅 タクシー10分	鎌倉市坂ノ下33-6	0467-25-5121

併願制 一般選抜(共通テスト利用)前期 一般選抜(共通テスト利用)後期

一般選抜(共通テスト利用)前期・後期で求める人材

一般選抜(共通テスト利用)前期・後期では下記の(1)～(3)すべてに該当する人材を求めます。

- (1) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (2) 各学科・学環が求める学力(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度)を有する人。
- (3) 高等学校卒業段階の英語4技能の資質を有する人。

出願資格

大学入試センターが示す出願資格を有し、当該年度の大学入学共通テストに出願し、
本学の学部・学科・学環指定の教科・科目を登録した女子。

選抜方法

2027(令和9)年度大学入学共通テストおよび調査書により選抜を行います。

日程

入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日(消印有効)
一般選抜 (共通テスト利用)前期	2027年 1月4日(月)～2月4日(木)	個別試験 実施せず	2027年 2月16日(火)	一括 2027年2月22日(月) 二段階 1次:2027年2月22日(月) 最終:2027年2月26日(金)
一般選抜 (共通テスト利用)後期	2027年 2月10日(水)～2月26日(金)		2027年 3月5日(金)	一括 2027年3月18日(木)

入学検定料

5,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については57・58ページを参照してください。

※一般選抜(共通テスト利用)には、「入学検定料免除制度」は適用されません。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

▶共通テスト併願割引制度

「一般選抜(共通テスト利用)前期」・「一般選抜(共通テスト利用)後期」において、学部と短期大学部を併願する場合も含め、1回の入学検定料(5,000円)で学科数の上限なく複数出願できます。大学入学共通テストの受験科目によっては全学科併願も可能です。

【併願パターンの一例】

小学校教諭を目指す受験生は…

児童学科

子ども心理学科

教育学学科

教育メディアクリエイション学環

初等教育学科(短大)

5,000円

+

0円

+

0円

+

0円

+

0円

＝ 合計5,000円

5学科・学環を1回分の入学検定料(5,000円)で出願！

養護教諭を目指す受験生は…

家政保健学科

子ども心理学科

5,000円

+

0円

＝ 合計5,000円

2学科を1回分の入学検定料(5,000円)で出願！

試験教科・科目[前期・後期共通]

学部・学科・学環		教科数	教科	出題科目
家政学部	家政保健学科	3教科 3科目選択 ※4教科以上受験した場合は、高得点の3教科・科目を合否判定に使用	国語	『国語』(近代以降の文章) ※『国語』(近代以降の文章)は110点満点を100点満点に換算します。
			外国語	『英語』(リーディングおよびリスニング) ※リーディング(100点)とリスニング(100点)の200点満点を100点満点に換算します。
児童学部	児童学科		地理歴史 または 公民	『地理総合,地理探究』 『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』 『公共,倫理』『公共,政治・経済』
	子ども心理学科			
教育学部	教育学科		数学	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』
教育メディアクリエーション学環			理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』
			情報	『情報Ⅰ』
家政学部	管理栄養学科	2教科必須	国語	『国語』(近代以降の文章) ※『国語』(近代以降の文章)は110点満点を100点満点に換算します。
			外国語	『英語』(リーディングおよびリスニング) ※リーディング(100点)とリスニング(100点)の200点満点を100点満点に換算します。
		1科目選択 ※2科目以上受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用	数学 または 理科	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』『数学Ⅱ,数学B,数学C』 『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 (※『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、 <u>化学基礎と生物基礎の出題範囲を選択回答すること</u>) 『化学』『生物』のいずれか1科目
短期大学部	初等教育学科	1教科 1科目選択 ※2教科以上受験した場合は、高得点の1教科・科目を合否判定に使用	国語	『国語』(近代以降の文章) ※『国語』(近代以降の文章)は110点満点を100点満点に換算します。
			外国語	『英語』(リーディングおよびリスニング) ※リーディング(100点)とリスニング(100点)の200点満点を100点満点に換算します。
			地理歴史 または 公民	『地理総合,地理探究』 『歴史総合,日本史探究』 『歴史総合,世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』 『公共,倫理』『公共,政治・経済』
			数学	『数学Ⅰ,数学A』『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ,数学B,数学C』
			理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』
			情報	『情報Ⅰ』

出願書類

1. 志 願 票

WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
(プリンター出力したもの) 詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
※「令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット(私立大学用)」の貼付が必要となります。
※過年度の成績は利用できません。

写真 写真

タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科・学環を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)
2. 調 査 書

文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)

次のいずれかに該当する場合は、それぞれ次の書類を提出してください。

- ① 高等学校卒業程度認定試験もしくは大学入学資格検定合格者は、「合格証明書」または「合格成績証明書」。
免除科目のある場合は、その科目の「成績証明書」また「調査書」も提出。
- ② 外国における12年の課程を修了した者は、「修了証明書」、「成績証明書」および「経歴書(本学所定用紙)」。
- ※一般選抜も合わせて出願する場合は、どちらかの「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた1つの封筒にまとめて郵送してください。その場合、調査書は1通提出してください。
- ※大学入学共通テストにおいて、病気・負傷や障害等のために「受験上の配慮事項審査結果通知書」をもって受験され、就学の際に配慮等を希望する場合は、志願票と一緒に結果通知書の写しを提出してください。

合格発表

- ① 合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します(簡易書留・速達)。**不合格者に対する文書での通知は行いません。**
詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- ② 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

繰り上げ合格について

入学手続状況により、不合格者のなかから繰り上げ合格を発表することがあります。繰り上げ合格となった場合には、出願時に登録(入力)された電話番号もしくは携帯番号への電話連絡により入学の意思確認を行った上で、合格通知書を郵送します。

入学手続

- ① 入学手続書類は、入学手続締切日(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日)までに郵送してください(当日消印有効)。
- ② 入学手続時納入金(詳しくは49ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入)。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③ 合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。
- ④ 前①、②の手続を完了(完納)した方には、入学手続締切日以降14日以内(二段階納入方式の場合は、二段階最終締切日より14日以内)に「入学許可書」を送付します。

入学辞退に伴う学費の返還について

一般選抜(共通テスト利用)で入学手続を完了した方が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、**入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに**入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。返還手続は、次の要領で行ってください。

- ① 受付期限
2027年3月31日(水)17:00まで
- ② 返還手続書類
1) 入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙)
2) 入学しようとする大学の合格通知書の写し
- ③ 返還方法
返還手続書類を受理した後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

入学金等納付金スライド制度

鎌倉女子大学または鎌倉女子大学短期大学部の併願制入試において入学手続きをし、本学の他入試において他の学科・学環に合格し入学手続きをする場合は納入済の入学金等納付金を振替えることが可能です。例えば、「学校推薦型選抜(短大／一般)」で合格し、短期大学部に入学金等納付金を納入し入学手続きを完了させても、その後受験した「一般選抜(共通テスト利用)前期」で児童学部児童学科に合格したなどの場合、納入した短期大学部の入学金等納付金を児童学部児童学科の納付金としてスライドすることができる制度です。この制度により、第2志望学科・学環の入学を担保しながら第1志望学科・学環へ安心して挑戦することができます。制度を利用する場合には、入学手続期間内に入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ、所定の手続を行ってください。
※「総合型選抜(学部・専願制／探究)」・「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」の第2志望合格者も入学金等納付金のスライド制度を利用することが可能です。

併願制 社会人特別選抜

社会人特別選抜で求める人材

社会人特別選抜では下記の(1)～(4)のすべてに該当する人材を求めます。

- (1) 社会経験(専業主婦を含む)を有し、勉学に対しての目的意識が明確な人。
- (2) 本学のアドミッションポリシー(AP)を理解し、入学後、積極的に学修しようとする人。
- (3) 社会経験等により、他の学生に好ましい影響を与えることが期待できる人。
- (4) 各学科・学環の求める基礎的な事項を修得している人。

出願資格

文部科学省が示す大学入学資格のいずれかを有する女子および2027年3月31日までに有する見込みの女子で

2027年4月1日現在、満23歳以上かつ社会経験(専業主婦を含む)を有する者。(P.6参照)

※障害や疾病により受験に際して合理的配慮を必要とする場合は、出願受付開始前のできるだけ早い時期に必ず入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで申し出てください。

募集人員

家政学部・児童学部・教育学部、教育メディアクリエーション学環、短期大学部とも
各学科・学環 若干名

選抜方法

書類審査、小論文および面接により選抜を行います。

※面接では、志望する分野についての基礎的事項に関する問を含めます。

※小論文の試験時間は60分です。

日程・試験会場

出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日	入学手続締切日(消印有効)	試験会場
2026年11月16(月)～12月1日(火)	〈短期大学部〉 2026年12月5日(土) 〈学部〉 2026年12月6日(日)	2026年12月10日(木)	一 括 2027年 1月5日(火) 二 段階 1次:2027年 1月5日(火) 最終:2027年 2月26日(金)	本学(大船キャンパス)

※集合時間は、受験票の記載により指示されます。

出願書類

- 志 願 票** WEB出願サイトでの出願が完了したら、「封筒貼付用宛名シート」とともにプリンター出力してください。
(プリンター出力したもの) 詳細は55ページ「WEB出願の利用について」を参照してください。
写 真 タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの。(カラー・白黒どちらでも可)
写真の裏面に氏名・志望学科・学環を明記。「志願票」に貼付。(詳しくは59ページを参照)
- 調 査 書** 文部科学省所定様式(出身高等学校長発行の厳封したもの)
調査書が入手できない場合は、出身高等学校の「卒業証明書」および「成績証明書」を提出してください。
- 入学希望理由書** 本学所定用紙(本学ホームページからダウンロードできます)
(社会人特別選抜用)

入学検定料

30,000円

※コンビニエンスストア、クレジットカード、Pay-easy(ペイジー)ATM、Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングのいずれかでの納入となります。

各納入方法については57・58ページを参照してください。

※入学検定料の他に、検定料納入手数料が必要となります。

不正行為

- ①カンニング(メモやコピーなどを机上等に置いたり見たりすること、教科書、参考書、辞書等の書籍類の内容を見ること、他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど)をすること。
- ②他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをすること。
- ③配付された問題を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
- ④解答用紙を試験室から持ち出すこと。
- ⑤「はじめてください。」の指示の前に、問題を開いたり解答を始めること。
- ⑥試験時間中に、定規(定規の機能を備えた鉛筆等を含む)、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
- ⑦試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
- ⑧「書くのをやめてください。」の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けること。

受験上の注意

- ①集合時間は、受験票の記載により指示されますので確認をしてください。(指示された時間の変更はできません)
- ②試験室への入室は、集合時間の20分前からです。
- ③試験当日は、集合時間までに試験室に入室し、受験番号の席に着いてください。
- ④試験会場内では受験票を常に携帯し、小論文の時間中は机上に置いてください。
紛失もしくは忘れた方は、試験開始前に係に申し出て再交付を受けてください。
- ⑤スマートフォン・携帯電話等の電源は必ず切り、アラームの設定も解除してください。
机上には受験票、筆記用具、時計しか置けません。
また、スマートフォン・携帯電話を時計がわりに使用することはできません。
- ⑥小論文の時間中は受験票、筆記用具、時計以外のものは、かばん等に入れて座席の下に置いてください。小論文試験は60分です。
試験途中の退室は認めません。体調不良、トイレ等により、やむを得ず退室を希望する場合には、手を挙げて監督者に知らせ、その指示に従ってください。ただし、**退室が認められた場合であっても試験時間の延長は認められません。**
- ⑦インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症(学校保健安全法施行規則で規定された感染症)を罹患し治療していない方は受験できません。入学検定料の返還を求める際は、所定の返還申請を行ってください。
- ⑧試験場においては、監督者等の指示に従ってください。(監督者等の指示に従わない場合は不正行為となる場合があります。)

※試験日前日の下見は、校舎の位置を確認するだけとし、試験室内に入ることはできませんので留意してください。

※試験当日の車での来校は、駐車場がありませんのでご遠慮ください。

合格発表

- ①合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します(簡易書留・速達)。
詳しくは62ページ「合格発表について」を参照してください。
- ②電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

入学手続

- ①入学手続書類は、入学手続締切日(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日)までに郵送してください(当日消印有効)。
- ②入学手続時納入金(詳しくは49ページを参照)は、入学手続締切日(当日収納印有効)までに必ず納入してください(二段階納入方式の場合は、1次手続締切日までに入学手続時納入金のうち入学金を納入し、二段階最終締切日までに入学手続時納入金残金を納入)。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されませんので十分注意してください。
- ③合格通知書の未着を理由とした入学手続期間の延長は、認めません。
- ④前①、②の手続を完了した方には、入学手続締切日以降14日以内(二段階納入方式の場合は、二段階最終締切日より14日以内)に「入学許可書」を送付します。

入学辞退に伴う学費の返還について

社会人特別選抜で入学手続を完了した方が、本学への入学を辞退する場合は、入学金を除く入学手続時納入金を返還しますので、入学辞退の意志が固まった時点ですみやかに入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)まで連絡してください。

返還手続は、次の要領で行ってください。

- ①受付期限
2027年3月31日(水)17:00まで
- ②返還手続書類
 - 1)入学手続金返金願・入学辞退願(本学所定用紙)
 - 2)入学しようとする大学の合格通知書の写し
- ③返還方法
入学辞退届受領後、おおむね20日以内に入学手続時納入金のうち入学金を除く金額を指定の口座に振り込みます。

[学費・その他の納入金]

学費・その他の納入金一覧2027年度学納金(予定)

学部・学科・学環				大 学						短期大学部
				家政学部		児童学部		教育学部	教育メディア クリエーション 学環	
区分				家政保健学科	管理栄養学科	児童学科	子ども心理学科	教育学科		初等教育学科
初年度納入金	入学手続時	学費	入学金	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円	250,000円
			授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
			教育環境 充実費	135,500円	138,500円	122,500円	123,500円	122,500円	128,000円	110,500円
			実験実習費	93,000円	100,000円	90,000円	93,000円	90,000円	96,500円	90,000円
		その他	文化厚生費	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円
		入学手続時 納入金計			836,000円	846,000円	820,000円	824,000円	820,000円	832,000円
	秋学期	学費	授業料	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円	350,000円
			教育環境 充実費	135,500円	138,500円	122,500円	123,500円	122,500円	128,000円	110,500円
			実験実習費	93,000円	100,000円	90,000円	93,000円	90,000円	96,500円	90,000円
			その他	文化厚生費	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円	7,500円
		秋学期 納入金計			586,000円	596,000円	570,000円	574,000円	570,000円	582,000円
初年度納入金計				1,422,000円	1,442,000円	1,390,000円	1,398,000円	1,390,000円	1,414,000円	1,366,000円
2年次納入金				1,226,000円	1,256,000円	1,178,000円	1,198,000円	1,178,000円	1,216,000円	1,161,000円
3年次納入金				1,226,000円	1,256,000円	1,178,000円	1,198,000円	1,178,000円	1,216,000円	
4年次納入金				1,232,000円	1,262,000円	1,184,000円	1,204,000円	1,184,000円	1,222,000円	
総計				5,106,000円	5,216,000円	4,930,000円	4,998,000円	4,930,000円	5,068,000円	2,527,000円

※4月から9月までが春学期、10月から3月までが秋学期となります。授業料、教育環境充実費、実験実習費、文化厚生費は1年間を2期に分けて納入していただきます。

初年度秋学期以降の学費は、口座振替(自動引落)による納入となります。振替口座の登録方法や振替日時等については入学後に別途連絡いたします。

※学費、その他の納入金には消費税は課税されません。

※同窓会終身会費(6,000円)は卒業年度の秋学期に納入していただきます。

※免許・資格取得に要する課程履修費(1免許・資格20,000円)及び免許・資格申請費用、介護等体験参加費、学習上必要とする教材費等については入学後に別途納入していただきます。

※入学に際し、学債、寄付金等は一切徴収いたしません。

[入学手続時納入金について]

入学手続時納入金は、指定した入学手続締切日(当日収納印有効)までに納入していただきます。所定の期日までに納入されなかった場合は、入学が許可されません。入学手続時納入金の納入方式は、一括納入方式と二段階納入方式があります。

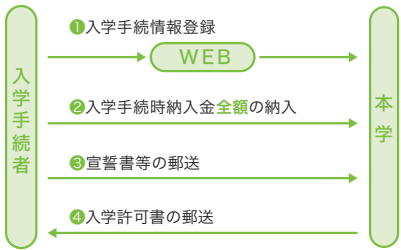
入学手続締切日

入試区分	納入方式	一括および二段階1次 手続締切日	二段階 最終手続締切日
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期	一括または二段階	11月16日(月)	2月26日(金)
総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)	一括または二段階	11月16日(月)	2月26日(金)
総合型選抜(短大)Ⅰ期	一括または二段階	11月16日(月)	2月26日(金)
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期	一括または二段階	12月11日(金)	2月26日(金)
総合型選抜(短大)Ⅱ期	一括または二段階	12月11日(金)	2月26日(金)
学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)	一括または二段階	12月11日(金)	2月26日(金)
学校推薦型選抜(短大／一般)	一括または二段階	12月11日(金)	2月26日(金)
総合型選抜(短大)Ⅲ期	一括または二段階	1月5日(火)	2月26日(金)
社会人特別選抜	一括または二段階	1月5日(火)	2月26日(金)
総合型選抜(学部・併願制／基礎力)	一括または二段階	2月5日(金)	2月26日(金)
一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)	一括または二段階	2月5日(金)	2月26日(金)
一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)	一括または二段階	2月5日(金)	2月26日(金)
一般選抜B日程(学部)	一括または二段階	2月22日(月)	2月26日(金)
一般選抜B日程(短大)	一括または二段階	2月22日(月)	2月26日(金)
一般選抜(共通テスト利用)前期	一括または二段階	2月22日(月)	2月26日(金)
総合型選抜(短大)Ⅳ期	一括	3月12日(金)	
一般選抜(共通テスト利用)後期	一括	3月18日(木)	

入学手続締切日までにを行う手続き

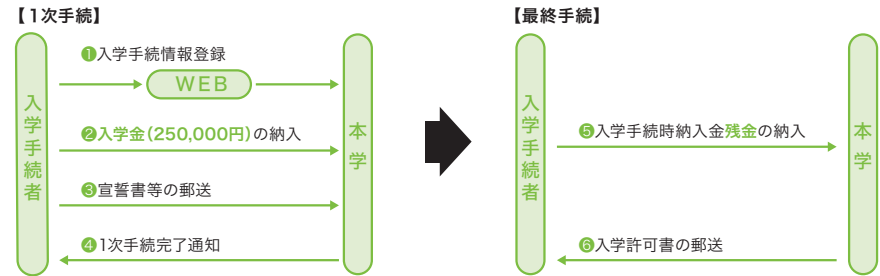
一括納入方式

一括手続締切日までに①「入学手続情報登録」②「入学手続時納入金全額」の納入③「宣誓書等」の郵送を行うことで入学手続を完了します。



二段階納入方式

1次手続締切日までに①「入学手続情報登録」②「入学手続時納入金のうち入学金」の納入③「宣誓書等」の郵送を済ませた後、⑤「入学手続時納入金残金」の納入を最終手続締切日までにを行うことで入学手続を完了します。



入学辞退に伴う学費の返還についての詳細は、総合型選抜(学部・併願制／基礎力)(18ページ)、総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)、総合型選抜(短大)Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期(23ページ)、学校推薦型選抜(短大／一般)(29ページ)、一般選抜(40ページ)、一般選抜(共通テスト利用)(44ページ)、社会人特別選抜(47ページ)をご覧ください。

[特待生チャレンジについて]

●総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)

「総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)」のすべての受験生が特待生の選考の対象となります。
合格者の成績上位3名を対象として入学金 250,000円を免除します。

入学検定料は1回分で総合型選抜(学部・専願制/探究)Ⅰ期と同時出願が可能です。

●一般選抜(特待生チャレンジ)

「一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)」・「一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)」のすべての受験者が特待生の選考の対象になります。

特待生としての合格枠は、大学は50名、短期大学部は2名です。成績優秀者(試験の成績および「調査書(主体性等の観点評価)」で選考)に対して1年次は700,000円を給費。2年次以降(最長4年)は350,000円が給費されます。
(ただし、2年次以降、前年の成績が基準(GPA3.0)を下回った場合は支給されません。また、それ以降の年度においても支給されません。)

併願制の年内入試出願者だけでなく、専願制である総合型選抜(学部・専願制／探究)、学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)、学校推薦型選抜(指定校)の1次手続完了者、入学手続完了者も入学検定料免除でチャレンジ可能です。

※総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)の特待生としての1次手続完了者・入学手続完了者は学部合格のために一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で受験することが可能です。ただし、一般選抜A日程(特待生チャレンジ)で特待生になることはできません。また、総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)で特待生として入学金免除となった方が学部合格をし入学手続きをする場合は、学部の入学金の納入が必要です。

[奨学金]

■鎌倉女子大学の奨学金

鎌倉女子大学には、次の奨学金があります。給費または学費減免による奨学金制度で学生生活をサポートしています。

※在学期間中、本学が定める奨学金を重複して受けることはできません。

1.鳥っ子応援奨学金

予約型

沖縄県および島しょ地域の居住者で、本学が定める収入等の基準を満たしている受験生を対象として、入学手続時納入金から365,000円を学費減免します。予約制ですので、受験する前に学費減免の対象となるかを確認することができます。

※社会人特別選抜は除く。

2.フリージア奨学金(給費)

経済的理由により修学が困難であると認められ、かつ本学の建学の精神に則り、他の学生の模範となる学生を奨励します。

対象	大学院、大学、短期大学部の全学年
審査	申請に基づき、家計状況・学業成績・人物により審査します。
金額	年間240,000円(単年度限り)

3.スベリオール奨学金(給費)

本学の建学の精神に則り、他の学生の模範となり、かつ優秀な成績を修めている学生を奨励します。

対象	大学院2年次、大学3・4年次、短期大学部2年次
審査	前年度の成績優秀者を対象に審査します。
金額	年間240,000円(単年度限り)

■日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度です。経済的理由により修学に困難がある優れた学生を対象にしています。最新の情報は、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

第一種奨学金 (無利子貸与)	20,000円～64,000円 (大学・短大／自宅・自宅外により異なる)
第二種奨学金 (有利子貸与)	20,000円～120,000円 (希望の月額を選択)

申込み方法には、入学前に高等学校等で手続きをする「予約採用」と入学後に手続きをする「定期採用」があります。

※2026年4月1日現在

※最新の情報は、日本学生支援機構のホームページでご確認ください。

■保育士修学資金貸付制度

保育士をめざす学生を対象に、各自治体の社会福祉協議会等が実施する修学資金の貸付制度があります。この貸付制度は、修学資金の貸付を受けた自治体内で保育士として一定期間従事する等の条件を満たすことにより、全額返還免除を受けられます。

■その他の奨学金

各地方自治体等の公共機関や、企業等が独自で基金を設けて行う奨学金制度があります。これらの奨学金は募集対象や金額、申込期間などがそれぞれ異なります。

[教育訓練給付金について]

社会人を対象に、厚生労働省が実施している返還不要の給付制度です。

短期大学部初等教育学科が、厚生労働大臣より「専門実践教育訓練指定講座」として指定を受けております。

また、家政学部管理栄養学科も 2027年4月入学生より適用予定です(指定申請中)。この制度を利用すると最大で受講費用の80%(年間64万円)の支給が見込まれます。制度の詳細は厚生労働省のHP等をご確認ください。

※「専門実践教育訓練給付金」の申請手続きは、お住まいの住所を管轄するハローワークにて、事前にご自身で行う必要があります。



[入学検定料の返還について]

以下の事項に該当する場合は、入学検定料を返還しますので入試・広報センター(TEL:0467-44-2117)に連絡のうえ2027年3月31日(水)までに申請手続を行ってください。

●入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合

●入学検定料を誤って二重もしくは過剰に納入した場合

●出願が受理されなかった場合

●学校保健安全法施行規則に規定された感染症により受験ができなかった場合

●その他、本学が認めるやむを得ない事由の場合

[高等教育の修学支援新制度]



本学は、国の「高等教育の修学支援新制度」の対象校です。本制度は、「日本学生支援機構給付奨学金」と「授業料等減免」を併せたものです。2025年度からは、本制度が拡充され、多子世帯(扶養されている子等が3人以上の世帯)の学生について、所得制限なく、大学等の授業料・入学金が国の定める一定額まで無償となります。

日本学生支援機構給付奨学金の「予約採用」の手続をされ、採用候補決定通知を受けた方も、入学手続締切日までに入学手続時納入金の全額を納入していただきます。入学後、所定の手続きを行うことにより奨学金の給付および減免額の還付を受けることが可能となります。また、鎌倉女子大学奨学金(フリージア奨学金、スベリオール奨学金、特待生奨学金、鳥っ子応援奨学金(予約型))、鎌倉女子大学緊急支援学費減免措置と併用可能です。ただし、鳥っ子応援奨学金(予約型)及び鎌倉女子大学緊急支援学費減免措置については、採用時期によって、授業料等減免額が調整される場合があります。

[国の教育ローン(日本政策金融公庫)]

入学・在学するために必要となる資金に対する公的な融資制度です。学生1人につき350万円を限度として固定金利で融資を受けることが可能です。また、在学期間中利息のみの返済とすることができます。詳しくは下記のコールセンターへお問い合わせください。

[日本政策金融公庫 教育ローンコールセンター]0570-008656(ナビダイヤル)

※上記番号が利用できない場合 03-5321-8656

[入学検定料免除制度について]

▶ 1回の入学検定料で、次回以降の試験は入学検定料免除でチャレンジできます。

最初に受験する試験の入学検定料(30,000円)を納入するだけで、次回以降に出願した試験の入学検定料が免除となる制度です。志望する学科・学環を変更した場合でも免除の対象です。また、出願期間が重複している入試を同時に出願する場合でも入学検定料免除制度が適用され、1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。ただし、「学校推薦型選抜(指定校)」「一般選抜(共通テスト利用)前期・後期」「社会人特別選抜」には適用されません。

最初に出願した試験	入学検定料免除となる試験				
総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅰ期、 (短大/特待生チャレンジ)	総合型選抜 (学部・併願制/基礎力)、 (短大)Ⅰ期	総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅱ期、(短大)Ⅱ期 学校推薦型選抜 (学部・専願制/一般)、(短大/一般)	総合型選抜 (短大) Ⅲ・Ⅳ期	一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)
総合型選抜 (学部・併願制/基礎力)、 (短大)Ⅰ期	→	総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅱ期、(短大)Ⅱ期 学校推薦型選抜 (学部・専願制/一般)、(短大/一般)	総合型選抜 (短大) Ⅲ・Ⅳ期	一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)
総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅱ期、(短大)Ⅱ期 学校推薦型選抜 (学部・専願制/一般)、(短大/一般)	→		総合型選抜 (短大) Ⅲ・Ⅳ期	一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)
一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	→			一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)	総合型選抜 (短大) Ⅳ期
志望する学科・学環を変更した場合でも1回分の入学検定料(30,000円)で受験可能！					

▶ 年内入試(専願制)の1次手続完了者、入学手続完了者も入学検定料免除で特待生を目指せます。
年内入試(併願制)の出願者は異なる学科・学環で再チャレンジすることもできます。

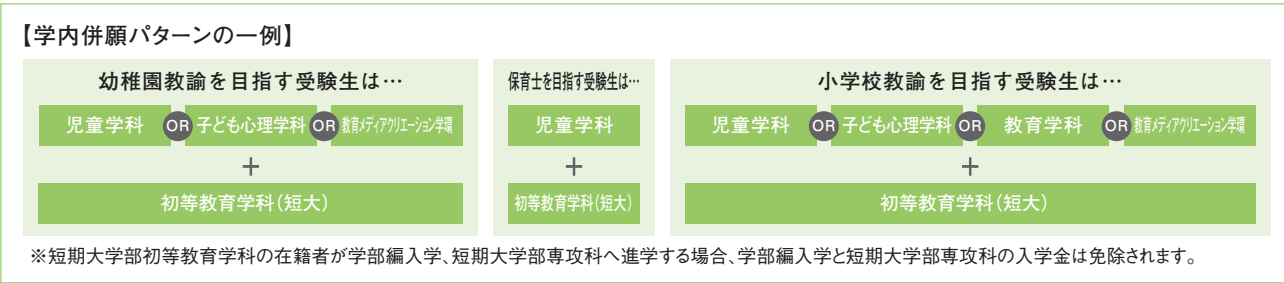
学部の総合型選抜(学部・専願制／探究)・学校推薦型選抜(一般)や学部・短大の学校推薦型選抜(指定校)では、手続き済みの学科・学環で「一般選抜(特待生チャレンジ)」を入学検定料免除で受験できます。
「総合型選抜(短大/特待生チャレンジ)」・「総合型選抜(短大)」・「学校推薦型選抜(短大／一般)」の1次手続完了者、入学手続完了者も、短大の入学を担保に学部・短大両方の「一般選抜(特待生チャレンジ)」を入学検定料免除で受験できます。学部合格のチャンスはもちろん、学部・短大の特待生になるチャンスもあります。学部に合格した場合、納入した短大の入学金等納付金は学部にもスライドすることが可能です。(※1)

総合型選抜(学部・専願制／探究) 学校推薦型選抜(学部・専願制／一般) 1次手続完了者、入学手続完了者	手続き済みの学科・学環で 特待生チャレンジを入学検定料免除で受験！	→	特待生のチャンス！ 一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)
学校推薦型選抜(指定校) 1次手続完了者、入学手続完了者	手続き済みの学科・学環で 特待生チャレンジを入学検定料免除で受験！	→	特待生のチャンス！ 一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ) 一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)
総合型選抜(学部・併願制／基礎力) 総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)(※1) 総合型選抜(短大) 学校推薦型選抜(短大／一般) 出願者、1次手続完了者、入学手続完了者	学部の特待生チャレンジを入学検定料免除で受験！	→	学部合格、学部特待生のチャンス！ 一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)
	短大の特待生チャレンジを入学検定料免除で受験！	→	短大特待生のチャンス！ 一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)

(※1) 総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)の特待生としての1次手続完了者・入学手続完了者は学部合格のために一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)を入学検定料免除で受験することが可能です。ただし、一般選抜A日程(特待生チャレンジ)で特待生になることはできません。また、総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)で特待生として入学金免除となった方が学部合格をし入学手続きをする場合は、学部の入学金の納入が必要です。

▶ 学校推薦型選抜(一般)・一般選抜で学部と短大を学内併願する場合も1回の入学検定料で受験できます。

「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大／一般)」を学内併願する場合や「一般選抜(学部)」と「一般選抜(短大)」を学内併願する場合は1回の入学検定料(30,000円)で受験できます。
※「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大／一般)」を学内併願する場合は、「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」と「学校推薦型選抜(短大／一般)」の両方を受験する必要があります。
※一般選抜の「国語」の試験問題は、学部と短大の共通問題です。学部で受験された「国語」の成績を短大の合否判定に使用します。



[共通テスト併願割引制度について]

「一般選抜(共通テスト利用)前期」・「一般選抜(共通テスト利用)後期」において、学部と短期大学部を併願する場合も含め、1回の入学検定料(5,000円)で学科数の上限なく複数出願できます。大学入学共通テストの受験科目によっては全学科・学環併願も可能です。

【併願パターンの一例】

小学校教諭を目指す受験生は…

児童学科	子ども心理学科	教育学科	教育メディアクリエーション学環	初等教育学科(短大)				
5,000円	+	0円	+	0円	+	0円	+	0円
= 合計5,000円								
5学科・学環を1回分の入学検定料(5,000円)で出願!								

養護教諭を目指す受験生は…

家政保健学科	子ども心理学科	
5,000円	+	0円
= 合計5,000円		
2学科を1回分の入学検定料(5,000円)で出願!		

[学部第2志望申請制度について]

「総合型選抜(学部・専願制／探究)」・「総合型選抜(学部・併願制／基礎力)」・「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」・「一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)」・「一般選抜B日程(学部)」では、管理栄養学科以外の学科・学環を第2志望として申請することができます。第1志望の学科・学環で不合格となった場合、出願時に第2志望の申請があれば、第2志望の学科・学環であらためて合否判定をいたします。第2志望を申請しても入学検定料は30,000円です。詳細は各選抜ごとの記載ページを参照してください。

[入学金等納付金のスライド制度について]

鎌倉女子大学または鎌倉女子大学短期大学部の併願制入試において入学手続きをし、本学その他入試において他の学科・学環に合格し入学手続きをする場合は納入済の入学金等納付金を振替えることが可能です。例えば、「学校推薦型選抜(短大／一般)」で合格し、短期大学部に入学金等納付金を納入し入学手続きを完了させても、その後受験した「一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)」で児童学部児童学科に合格したなどの場合、納入した短期大学部の入学金等納付金を児童学部児童学科の納付金としてスライドすることができる制度です。この制度により、第2志望学科・学環の入学を担保しながら第1志望学科・学環へ安心して挑戦することができます。

※「総合型選抜(学部・専願制／探究)」・「学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)」の第2志望合格者も入学金等納付金のスライド制度を利用することが可能です。

[WEB出願の利用について]

WEB出願の利用について

- ① 本学の入試は、インターネットを利用した「WEB出願」となります。利用につきましては、以下の各項目を確認してください。
- ② 出願書類受付後、順次出願時に登録したメールアドレスに「受験票ダウンロードメール」が届きます。メールが届きましたら、各自で受験票を印刷してください。
- ③ 入学検定料の振込を済ませても出願書類一式が提出されない場合は、受験できません。
- ④ 出願後の入試区分、志望学科・学環の変更はできません。

WEB出願登録期限・検定料支払い期限・出願書類提出期限

WEB出願サイトで出願登録をただけでは、正式な出願となりません。

出願サイトで出願登録後、入学検定料の納入を完了させ、出願書類を下記提出期限日までに提出することで出願受理となります。

出願書類等に不足や不備が認められた場合、正式な出願が認められないことがありますので、余裕をもって出願してください。

入試区分	WEB 出願登録期限日時	検定料支払い期限日時*	出願書類提出期限日
総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)	9 月 7 日(月)17:00まで	9 月 7 日(月)17:00まで	【郵送】9 月 7 日(月)(消印有効)
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期	9 月11日(金)17:00まで	9 月11日(金)17:00まで	【郵送】9 月11日(金)(消印有効) 調査書提出期限日 【郵送】10 月 2 日(金)(消印有効)
総合型選抜(学部・併願制／基礎力)	10 月 9 日(金)17:00まで	10 月 9 日(金)17:00まで	【郵送】10 月 9 日(金)(消印有効)
総合型選抜(短大)Ⅰ期	10 月 9 日(金)17:00まで	10 月 9 日(金)17:00まで	【郵送】10 月 9 日(金)(消印有効)
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期	11 月13日(金)17:00まで	11 月13日(金)17:00まで	【郵送】11 月13日(金)(消印有効)
総合型選抜(短大)Ⅱ期	11 月13日(金)17:00まで	11 月13日(金)17:00まで	【郵送】11 月13日(金)(消印有効)
学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)	11 月13日(金)17:00まで	11 月13日(金)17:00まで	【郵送】11 月13日(金)(消印有効)
学校推薦型選抜(短大／一般)	11 月13日(金)17:00まで	11 月13日(金)17:00まで	【郵送】11 月13日(金)(消印有効)
総合型選抜(短大)Ⅲ期	12 月 1 日(火)17:00まで	12 月 1 日(火)17:00まで	【郵送】12 月 1 日(火)(消印有効)
社会人特別選抜	12 月 1 日(火)17:00まで	12 月 1 日(火)17:00まで	【郵送】12 月 1 日(火)(消印有効)
一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)	1 月18日(月)17:00まで	1 月18日(月)17:00まで	【郵送】1 月18日(月)(消印有効)
一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)	1 月18日(月)17:00まで	1 月18日(月)17:00まで	【郵送】1 月18日(月)(消印有効)
一般選抜B日程(学部)	2 月 4 日(木)17:00まで	2 月 4 日(木)17:00まで	【郵送】2 月 4 日(木)(消印有効)
一般選抜B日程(短大)	2 月 4 日(木)17:00まで	2 月 4 日(木)17:00まで	【郵送】2 月 4 日(木)(消印有効)
一般選抜(共通テスト利用)前期	2 月 4 日(木)17:00まで	2 月 4 日(木)17:00まで	【郵送】2 月 4 日(木)(消印有効)
総合型選抜(短大)Ⅳ期	2 月24日(水)17:00まで	2 月24日(水)17:00まで	【郵送】2 月24日(水)(消印有効)
一般選抜(共通テスト利用)後期	2 月26日(金)17:00まで	2 月26日(金)17:00まで	【郵送】2 月26日(金)(消印有効)

※コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)ATMでの支払いの場合、検定料の支払い期限は出願登録翌日の23:59までとなります。また、出願登録限日の(最終日)の振込最終時間は17:00までとなりますので注意してください。

WEB出願前の準備

①推奨ブラウザとバージョン

PCブラウザ	■Windows: Microsoft Edge(最新バージョン) Google Chrome(最新バージョン)／Firefox(最新バージョン) ■MacOS: Safari(最新バージョン) ※ブラウザの設定について どのウェブブラウザでも、以下の設定を行ってください。 ・JavaScriptを有効にする。 ・Cookieを有効にする。 ※セキュリティソフトをインストールしている場合、WEB出願が正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。 セキュリティソフトについては、各メーカーのサポートセンターに問い合わせてください。
スマートフォン・タブレット	■Android:14.0以上(Android Chrome最新バージョン) ■iOS:17.0以上(Safari最新バージョン)
PDF推奨環境	アドビシステムズ社のAdobe Reader(無償)が必要です。 既にAdobe Readerをお持ちの方もバージョンを確認し、最新版にアップデートされることを推奨します。

- ② プリンター: A4用紙がプリントできる機種を用意してください。
- ③ 電子メールアドレス: ユーザー登録の際、メールアドレスの入力が必要です。フリーメール(GmailやYahoo!メールなど)や携帯電話のアドレスで構いませんが、携帯メールの場合はドメイン(@kamakura-u.ac.jp、@postanet.jp)を受信指定してください。出願登録完了時・入学検定料支払い完了時に、登録したメールアドレスに確認メールが自動送信されます。
- ④ 調査書
- ⑤ 写真: タテ4cm×ヨコ3cm、上半身・正面・無帽・背景無地のもので3か月以内に撮影したもの(カラー・白黒どちらでも可)
- ⑥ 封筒: 市販の角2封筒(A4サイズの書類が入る封筒)
- ⑦ 入学希望理由書[総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期・Ⅱ期、総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)(短大)Ⅰ期～Ⅳ期、学校推薦型選抜、社会人特別選抜]
- ⑧ 推薦書[学校推薦型選抜のみ]
- ⑨ 英語外部検定試験のスコアと取得年月を証明する書類(コピー可)[一般選抜で英語外部検定利用を申請する場合のみ]: 36ページを参照してください。
- ⑩ 令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット[一般選抜(共通テスト利用)のみ]: 59ページを参照してください。

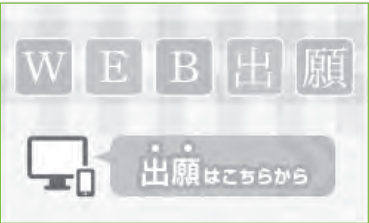
WEB出願の手順

STEP 1

アカウントを作成する

鎌倉女子大学ホームページ内の「WEB出願」のバナーをクリックしてWEB出願サイト「Post@net」にアクセスする。

URL <https://www.kamakura-u.ac.jp/prospective/webentry>



【アカウント作成】2027年度入試に初めて出願する方は、下記手順に従ってアカウントの作成をしてください。これまで2027年度入試に出願したことがある方はSTEP2の「2回目以降の出願登録について」を参照してください。

- ① Post@netのログイン画面より「新規登録」ボタンをクリック。
- ② 利用規約に同意した後、メールアドレス・パスワードなど必要項目を入力して「登録」ボタンをクリック。
- ③ 入力したメールアドレス宛に、仮登録メールが届きます。
- ④ 仮登録メールの受信から60分以内にメール本文のリンクをクリックして登録を完了させてください。
- ⑤ ログインの際には、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。

【ログイン】下記手順に従ってログインし、お気に入り学校の登録をしてください。

- ① メールアドレス・パスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックすると、登録したメールアドレスに認証コードが届きますので、入力しログインしてください。
- ② 「学校一覧」から「鎌倉女子大学」を検索してください。

STEP 2

出願登録

「出願登録」ボタンをクリックして下記手順により出願登録を行ってください。



※出願した内容を十分確認してください。

【2回目以降の出願登録について】

これまで2027年度入試に出願したことがある方は、「出願内容一覧」より鎌倉女子大学の「追加出願」ボタンをクリックして出願してください。入試区分の選択画面にある「入学検定料免除制度を利用する」のチェックボックスにチェックを入れて出願することで入学検定料が免除されます。総合型選抜、学校推薦型選抜(指定校含む)を出願された方で、一般選抜の出願を行う場合も入学検定料は免除されます。

- 前回入試の受験番号の入力が必要です
- 初めて出願する場合はSTEP1のアカウント作成から行ってください

【入学検定料免除制度について】

最初に出願した試験		入学検定料免除となる試験			
総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅰ期、 (短大/特待生チャレンジ)	総合型選抜 (学部・併願制/基礎力)、 (短大)Ⅰ期	総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅱ期、(短大)Ⅱ期 学校推薦型選抜 (学部・専願制/一般)、(短大/一般)	総合型選抜 (短大) Ⅲ・Ⅳ期	一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)
総合型選抜 (学部・併願制/基礎力)、 (短大)Ⅰ期	→		総合型選抜 (短大) Ⅲ・Ⅳ期	一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)
総合型選抜 (学部・専願制/探究)Ⅱ期、(短大)Ⅱ期 学校推薦型選抜 (学部・専願制/一般)、(短大/一般)	→		総合型選抜 (短大) Ⅲ・Ⅳ期	一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)
一般選抜 A日程(学部/特待生チャレンジ)、 A日程(短大/特待生チャレンジ)	→			一般選抜 B日程(学部)、 B日程(短大)	総合型選抜 (短大) Ⅳ期
志望する学科・学環を変更した場合でも1回分の入学検定料(30,000円)で受験可能！					

STEP
3

出願登録完了、入学検定料支払いの手続きへ

出願登録完了後、入学検定料の支払い方法を選択してください。

支払い方法を選択

以下があります。

1 コンビニエンスストア
2 クレジットカード
3 Pay-easy(ペイジー)ATM
4 Pay-easy(ペイジー)ネットバンキング

出願登録確認
メールが届く

入学検定料	総合型選抜 学校推薦型選抜 一般選抜 社会人特別選抜	30,000円	一般選抜 (共通テスト利用)	5,000円
-------	-------------------------------------	---------	-------------------	--------

- すべての支払い方法に対して入学検定料のほかに、**払込手数料が別途必要**です。
- 出願登録確認メールが届かない場合はPost@netへログインし、「出願内容一覧」画面から出願登録されているかを確認してください。
- 出願した内容およびお支払い方法の画面を印刷しておくことをおすすめします。印刷されない場合は出願登録番号(11桁)を必ずメモしておいてください。
※スマートフォン・タブレットで出願登録をした方は、スクリーンショット等で登録画面を保存しておくことをおすすめします。
- コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)ATMをご利用の場合は、お支払方法選択後、入学検定料の支払いに必要な番号が表示されます。必ず番号をメモしてください。検定料の支払い期限は**出願登録翌日の23:59まで**となります。**出願登録期限日(最終日)の支払い最終時間は17:00まで**となりますので注意してください。

支払い方法を選択

クレジットカードでの
支払い

Webで手続き完了

出願情報の入力時に、選択し支払いができます。

VISA
Master Card
JCB
AMERICAN EXPRESS
Diners Club INTERNATIONAL

Pay-easy(ペイジー)ネットバンキングでの
支払い

Webで手続き完了

支払い可能な金融機関一覧より選択し、支払い手順をご確認の上入学検定料をお支払いください。
※ご利用にはネットバンキングの利用契約が必要です。

コンビニエンスストア・Pay-easy(ペイジー)ATMでの支払い

支払い期限は**出願登録翌日の23:59まで**となります。(出願登録期限日(最終日)の支払い最終時間は**17:00まで**となります。)

コンビニエンスストア				ATM
ローソン／ミニストップ	セイコーマート	ファミリーマート		Pay-easy 利用ATM
Web画面に 表示された 「お客様番号」 「確認番号」	Web画面に 表示された 「オンライン 決済番号」	Web画面に 表示された 「バーコード」 ※スマートフォン、 タブレット限定	Web画面に 表示された 「お客様番号」 「確認番号」	「払込票」を印刷 または Web画面に 表示された 「払込票番号」
Loppi(ロッピー)			マルチコピー機	
「各種番号を お持ちの方」 ボタンを押す			「代金支払い/チャージ」 ボタンを押す	印刷した 「払込票」を渡す または レジで番号を お知らせください。
「お客様番号」を 入力	レジで 「インターネット支払い」 とお知らせください。 ※お客様側レジ操作 画面に入力案内が 出ますので、以下操作を 行ってください。		「番号入力」 ボタンを押す	「支払い方法選択」 ボタンを押す
「確認番号」を 入力	「オンライン 決済番号」を ハイフンを除いて 入力し 「登録」をタッチ		「お客様番号」を 入力	「確認番号」を 入力
	支払内容の 確認画面が表示 されるので、 「OK」ボタンを 押す	表示されている バーコードを レジにいるスタッフに 提示してください。 ※提示する際は、 画面の明るさを 最大にして下さい。 ※バーコードの 有効期限は 表示後から 10分間になります。	「確認番号」を 入力	「確認番号」を 入力
			注意事項を確認し、 「上記の内容を 確認しました」 ボタンを押す	「支払い方法選択」 ボタンを押す
			支払内容を確認し、 「確認」ボタンを押す	「確認」ボタンを押す
「申込券」発券			「申込券」 発券	「申込券」発券
発券から 30分以内にレジへ	代金お支払い		発券から 30分以内にレジへ	レジで番号を お知らせください。

※上記操作手順は一部省略されています。実際の画面の案内に従って操作してください。

STEP 4

必要書類（「志願票」「封筒貼付用宛名シート」）をプリンターで出力

入学検定料のお支払い後に、登録されたメールアドレスに「WEB出願支払完了」メールが送信されますので、メール内に記載の URL にアクセスして「志願票」と「封筒貼付用宛名シート」を印刷してください。

- ・学校推薦型選抜（一般）および一般選抜で学部と短大を学内併願する場合、「志願票」は1枚に集約されます。
- ・入学検定料免除制度を利用して複数日程を同時出願する場合、「志願票」はそれぞれ出力されます。写真もそれぞれに貼付してください。

- メール内のURLよりPost@netへログインし、「出願内容一覧」より鎌倉女子大学の「出願内容を確認」を選択し「志願票」、「封筒貼付用宛名シート」のダウンロードボタンをクリックして印刷
- ページの拡大、縮小はしない。A4サイズで印刷

3cm

4cm

写真貼付

上半身、正面、無帽、背景無地、タテ4cmヨコ3cm、出願前3か月以内に撮影したものを使用。（カラー・白黒どちらでも可）裏面に氏名・志望学科・学環を記入のうえ、しっかりと糊付けしてください。

志願票

封筒貼付用宛名シート

+

一般選抜（共通テスト利用）の出願の際は「令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット（私立大学用）」も貼付すること。

令和9年度大学入学共通テスト成績請求チケット（私立大学用）

200011-1001X-1
コマバ ミライ
駒場 未来
(切り取り)

一般選抜（共通テスト利用）のみ

STEP 5

出願書類の提出

入試種別ごとに必要書類が異なりますのでご注意ください。

	志願票	封筒貼付用宛名シート	調査書	入学希望理由書	推薦書	英語外部検定試験のスコアおよび取得年月を証明する書類（コピー可）	大学入学共通テスト成績請求チケット
総合型選抜（学部・専願制／探究）Ⅰ期・Ⅱ期	○	○	○	○			
総合型選抜（学部・併願制／基礎力）	○	○	○				
総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）	○	○	○	○			
総合型選抜（短大）Ⅰ期～Ⅳ期	○	○	○	○			
学校推薦型選抜（学部・専願制／一般）	○	○	○	○	○		
学校推薦型選抜（短大／一般）	○	○	○	○	○		
一般選抜 A 日程（学部／特待生チャレンジ）	○	○	○			○ ※英語外部検定利用 詳細は36ページ 申請者のみ	
一般選抜 A 日程（短大／特待生チャレンジ）	○	○	○				
一般選抜 B 日程（学部）	○	○	○			○ ※英語外部検定利用 詳細は36ページ 申請者のみ	
一般選抜 B 日程（短大）	○	○	○				
一般選抜（共通テスト利用）前期・後期	○	○	○				○
社会人特別選抜	○	○	○				○ ※本学ホームページ から専用書式を ダウンロード

総合型選抜（学部・専願制／探究）Ⅰ期・Ⅱ期、総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）・（短大）Ⅰ期・Ⅱ期・Ⅲ期・Ⅳ期、学校推薦型選抜、社会人特別選抜に出願される方

出願期間に印刷した「志願票」に顔写真を貼り付け、「入学希望理由書」と「調査書」を同封して郵便局窓口から郵送してください（学校推薦型選抜は「推薦書」も同封してください）。

※調査書は文部科学省所定様式。（出身高等学校長発行の厳封したもの）最終学年1学期まで（2期制の場合は前期まで）の「学習成績の状況」が記載されたもの。（総合型選抜（短大／特待生チャレンジ）においては出願期間内に提出することが可能な最新のもの）

※鳥っ子応援奨学金（予約型）（51ページ参照）を申請する場合は、申請書類一式を同封してください。申請書類は本学公式ホームページからダウンロードすることができます。

【出願期間】

【封筒】

封筒貼付用宛名シート

STEP4で印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付ける
市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

写真を貼り付けたSTEP4の「志願票」

入学希望理由書

調査書

推薦書（学校推薦型選抜のみ）

【調査書提出期間】 ※総合型選抜（学部・専願制／探究）Ⅰ期のみ対象

総合型選抜（学部・専願制／探究）Ⅰ期では出願期間内に間に合わない場合のみ、調査書提出期間内に「調査書」を郵便局窓口から郵送してください。

※封筒貼付用宛名シートは、入学検定料お支払い後に届いたURLからPost@netへログインし、「出願内容一覧」より鎌倉女子大学の「出願内容を確認」を選択し「封筒貼付用宛名シート」のダウンロードボタンをクリックして再度印刷することができます。

【封筒】

封筒貼付用宛名シート

調査書

出願期間と同様に「封筒貼付用宛名シート」を貼り付ける
市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

総合型選抜（学部・併願制／基礎力）、一般選抜、一般選抜（共通テスト利用）に出願される方

出願期間に印刷した「志願票」に顔写真〔一般選抜（共通テスト利用）の出願の際は「大学入学共通テスト成績請求チケット」も〕を貼り付け、「調査書」を同封して郵便局窓口から郵送してください。一般選抜を複数日程同時出願する場合や、一般選抜と共通テスト利用を合わせて出願する場合は、どちらかの「封筒貼付用宛名シート」を貼り付けた1つの封筒にまとめて郵送してください。その場合、「調査書」は1通同封してください。学部と短大を併願する場合も「調査書」は1通で構いません。専願制の年内入試の1次手続完了者、入学手続完了者が特待生チャレンジに出願する場合も「調査書」はあらたに1通提出してください。一般選抜で英語外部検定利用を申請する場合は、外部検定試験のスコアおよび取得年月を証明する書類（コピー可）を1部同封してください。

※調査書は文部科学省所定様式。（出身高等学校長発行の厳封したもの）

※鳥っ子応援奨学金（予約型）（51ページ参照）を申請する場合は、申請書類一式を同封してください。申請書類は本学公式ホームページからダウンロードすることができます。

【市販の角2封筒】

封筒貼付用宛名シート

STEP4で印刷した「封筒貼付用宛名シート」を貼り付ける
市販の角2封筒（A4サイズの書類が入る封筒）

写真を貼り付けたSTEP4の「志願票」

調査書

英語外部検定試験のスコアおよび取得年月を証明する書類（コピー可）※一般選抜で英語外部検定利用を申請した者のみ

出願完了

※出願書類提出期限日消印有効

登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を期間内に提出することで出願が完了します。

STEP 6

受験票の印刷

出願書類受付後、順次出願時に登録したメールアドレスに「受験票ダウンロードメール」が届きます。メールが届きましたら下記手順に従ってデジタル受験票を印刷してください。

①Post@netへログインし「出願内容一覧」より鎌倉女子大学の「出願内容を確認」を選択し「デジタル受験票」をクリックして、PDFファイルをダウンロードします。

②①のPDFファイルをページの拡大・縮小はせずにA4で印刷してください。

③試験当日に必ず受験票を持参してください。

※試験日の前日までに、「受験票ダウンロードメール」が届かない場合は入試・広報センター（TEL0467-44-2117）までご連絡ください。試験当日は印刷した受験票を忘れずに持参してください。

[WEB出願Q&A]

Q 自宅にパソコンやプリンターがない場合は出願できませんか？

A できます。自宅以外(学校等)のパソコンも利用可能です。プリンターがない場合は、一部のコンビニエンスストアにて、メディアリーダーを備えたコピー機があります。お持ちのメディアに印刷が必要なPDFファイルを入れて、コンビニエンスストア店頭へお持ちください。
※やむを得ない事情がある場合は、入試・広報センター(TEL: 0467-44-2117)に直接お問い合わせください。

Q メールアドレスがない場合はどうしたらいいですか？

A メールアドレスは、携帯電話やフリーメール(Gmail、Yahoo!メールなど)でも構いません。ご登録いただいたアドレスには、出願登録完了、入金完了の確認のご案内が送信されますので、必ず登録してください。携帯電話のアドレスの場合はドメイン(@kamakura-u.ac.jp、@postanet.jp)を受信設定してください。

Q ポップアップがブロックされ画面が表示できません。

A GoogleツールバーやYahoo!ツールバーなどポップアップブロック機能を搭載しているツールバーをインストールしている場合、ポップアップがブロックされ、ポップアップ画面が表示されない場合があります。WEB出願サイトPost@netのポップアップを常に許可するよう設定してください。

Q 氏名や住所の漢字が登録の際にエラーになってしまいます。

A 氏名(日本国籍の方は、戸籍簿に記載されている氏名)や住所などの個人情報を入力する際に、異体字等の漢字が登録エラーになる場合は、代替の漢字(なければカナ)を入力してください。なお、氏名に限り対応できる範囲で正しい漢字で登録することは可能です。ただし、原則として本学のコンピューターで使用できる漢字とします。

Q 登録した個人情報は安全に保護されますか？

A 数多くの大学で採用されているWEB出願システムを採用しています。個人情報を保護するセキュリティ面でも実績がありますので、ご安心ください。

Q 出願登録後に入力内容の誤りに気づいた場合変更できますか？

A 入学検定料の支払い前であれば手続きを中止し、Post@netへログインした後から再度出願手続きをしてください。なお、入学検定料支払い後、出願サイトからの変更はできませんので入試・広報センター(TEL: 0467-44-2117)までご連絡ください。出願登録後の入試区分、志望学科・学環の変更はできません。

Q 出願登録した後で確認できますか？

A 出願登録後、Post@netへログインし「出願内容一覧」から自分が登録した内容を確認できます。

[合格発表について]

- ① 内定通知(一部入試のみ) および合格発表は文書の郵送及びインターネットを利用した合否案内システムによって行います。合格者には合格発表日に、合格通知書およびWEB入学手続ガイドを発送します(簡易書留・速達)。合否案内システムの利用期間、利用手順については以下の通りです。よく読んで間違いのないように利用してください。
- ② 合格通知の未着を理由とした入学手続期間の延長は認めませんので十分注意してください。
- ③ 電話等での合否に関する問い合わせには応じません。

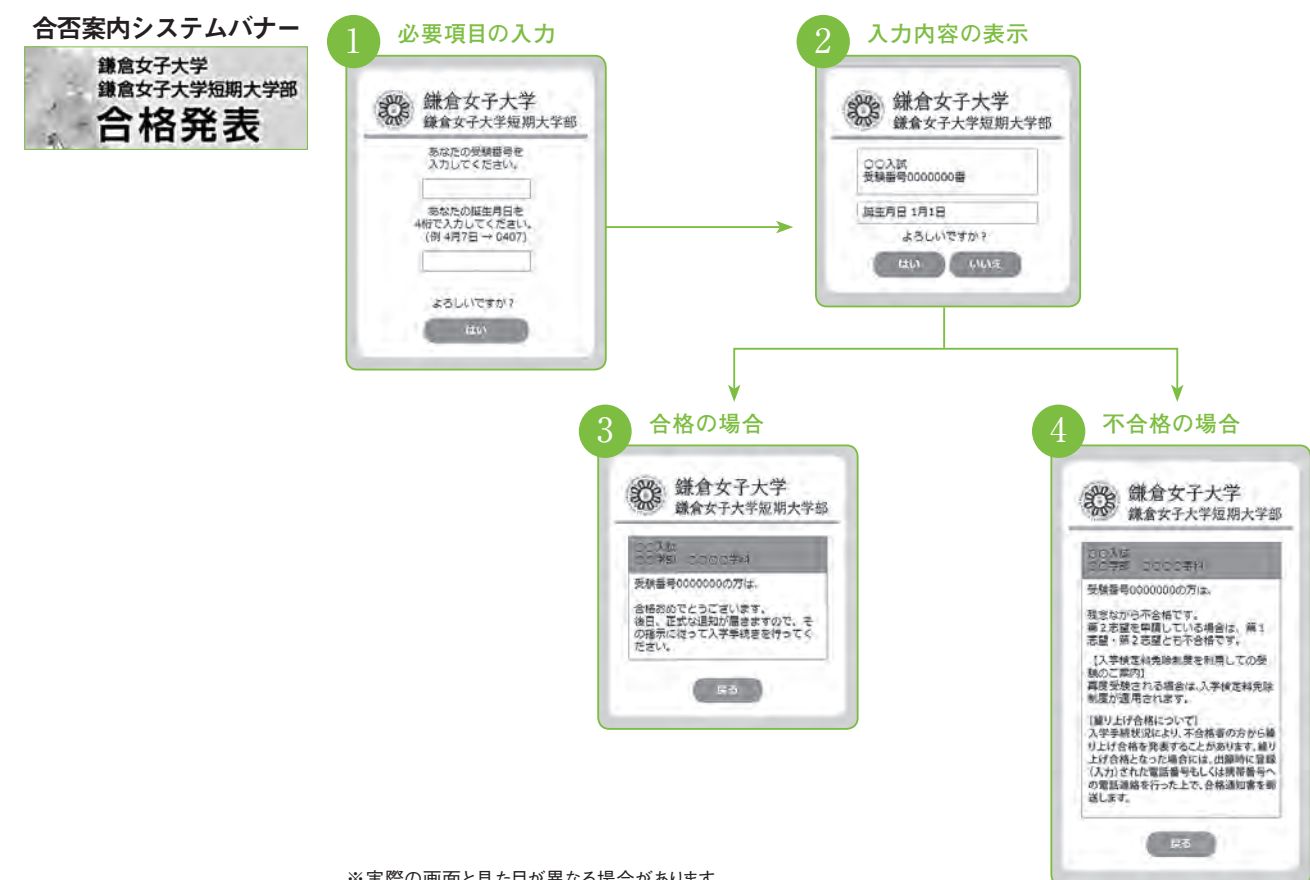
合否案内システム利用期間

区 分	合否案内システム利用期間
総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)(内定通知)	9月17日(木)8:30～9月18日(金)17:00
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期(内定通知)	10月7日(水)8:30～10月8日(木)17:00
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅰ期(合格発表)	11月2日(月)8:30～11月3日(火)17:00
総合型選抜(学部・併願制／基礎力)	11月2日(月)8:30～11月3日(火)17:00
総合型選抜(短大／特待生チャレンジ)(合格発表)	11月2日(月)8:30～11月3日(火)17:00
総合型選抜(短大)Ⅰ期	11月2日(月)8:30～11月3日(火)17:00
総合型選抜(学部・専願制／探究)Ⅱ期	12月1日(火)8:30～12月2日(水)17:00
総合型選抜(短大)Ⅱ期	12月1日(火)8:30～12月2日(水)17:00
学校推薦型選抜(学部・専願制／一般)	12月1日(火)8:30～12月2日(水)17:00
学校推薦型選抜(短大／一般)	12月1日(火)8:30～12月2日(水)17:00
総合型選抜(短大)Ⅲ期	12月10日(木)8:30～12月11日(金)17:00
社会人特別選抜	12月10日(木)8:30～12月11日(金)17:00
一般選抜A日程(学部／特待生チャレンジ)	1月28日(木)8:30～1月29日(金)17:00
一般選抜A日程(短大／特待生チャレンジ)	1月28日(木)8:30～1月29日(金)17:00
一般選抜B日程(学部)	2月16日(火)8:30～2月17日(水)17:00
一般選抜B日程(短大)	2月16日(火)8:30～2月17日(水)17:00
一般選抜(共通テスト利用)前期	2月16日(火)8:30～2月17日(水)17:00
一般選抜(共通テスト利用)後期	3月5日(金)8:30～3月6日(土)17:00
総合型選抜(短大)Ⅳ期	3月5日(金)8:30～3月6日(土)17:00

WEB(パソコン・スマートフォン・携帯電話)による合否案内システムの利用手順

 <https://www.kamakura-u.ac.jp/prospective/gouhi>

鎌倉女子大学ホームページ内の「合格発表」のバナーをクリックして合否結果を確認してください。



※実際の画面と見た目が異なる場合があります。

— 受験生サポート制度 —

一般選抜(特待生チャレンジ)

一般選抜(特待生チャレンジ)の成績優秀者は最長4年間の給費型奨学金の対象!専願制の年内入試手続者にも特待生のチャンス!

01

02

短大特待生チャレンジ

短大の総合型選抜では入学金が免除される特待生チャレンジを実施!

入学検定料免除制度

1回の入学検定料で、次回以降の試験は入学検定料免除!

03

04

共通テスト併願割引制度

一般選抜(共通テスト利用)では、5,000円の入学検定料で全学科併願が可能!

入学手続時納入金の二段階納入方式

一部の入試を除き、入学手続金の納入の際には入学金と授業料等を別々に納入する「二段階納入方式」を選択可能!

05

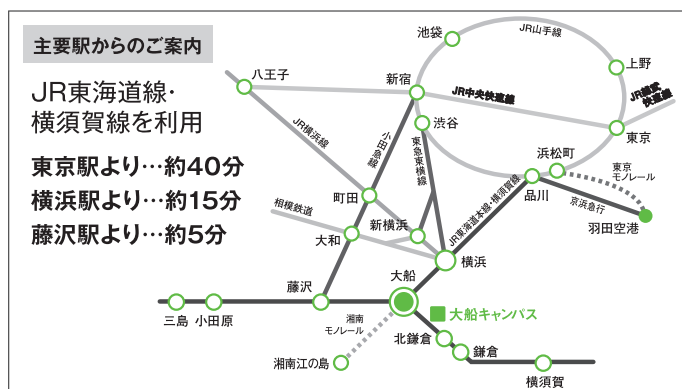
06

教育訓練給付金

短期大学部初等教育学科対象! 家政学部管理栄養学科も2027年4月入学生より適用予定(指定申請中)!
社会人を対象とした、厚生労働省が実施する返還不要の給付制度!

交通アクセス(大船キャンパス)

- JR東海道線/湘南新宿ライン/上野東京ライン/横須賀線/京浜東北・根岸線の「大船駅」下車、東口(南改札)または笠間口(北改札)徒歩8分。



鎌倉女子大学
鎌倉女子大学短期大学部

〒247-8512 神奈川県鎌倉市大船6-1-3
PC・スマートフォン: <https://www.kamakura-u.ac.jp>

入学試験に関する問い合わせ先

入試・広報センター
TEL: 0467-44-2117(直通) FAX: 0467-44-1168